



施工説明書



メーカー
管理用です。

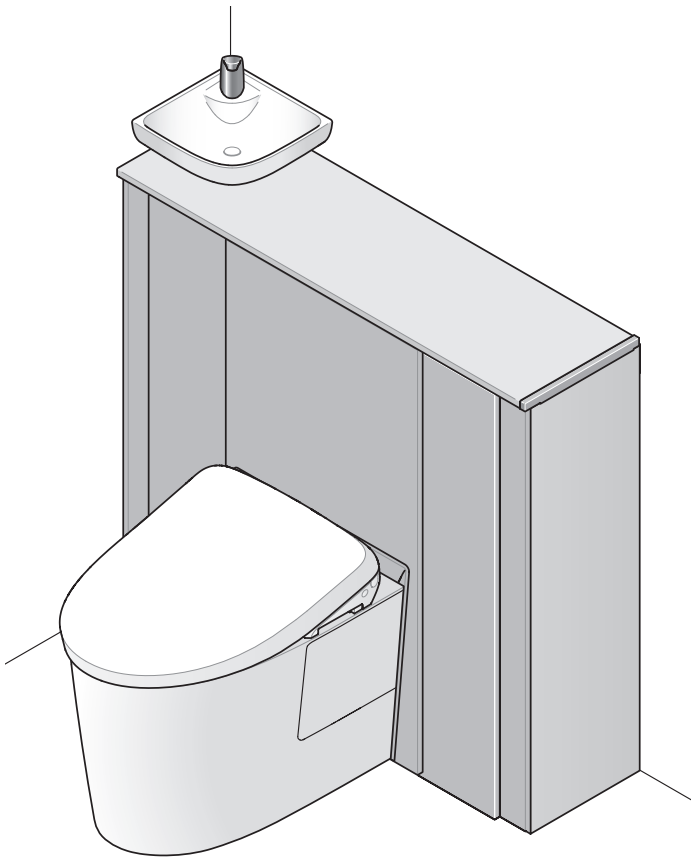
住宅用システムトイレ レストパル

I 型 床排水
まるごと収納タイプ(UWTA)
収納タイプ(UWTB)
スリム収納タイプ(UWTC)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
本書は左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



商品タイプの確認	2
情報編	3
1. 安全上のご注意	4
2. 取付前のご注意	6
3. 部品の確認	12
4. 施工ダイジェスト	16
手順編	17

動画を見る

施工の流れ

当社のウェブサイトから、施工動画がご確認いただけます。

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

工事店様へ

☐ 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。

☐ 取付後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。

☐ 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器・キャビネットタイプ

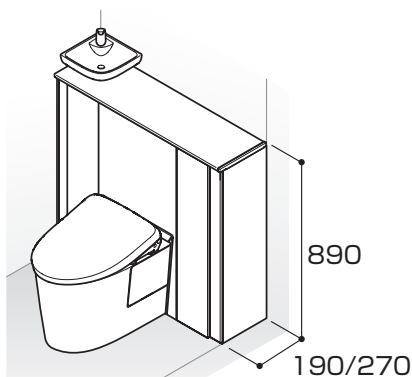
手洗器あり

収納タイプ

品番:UWTB*4～(キャビネット奥行き 270)

スリム収納タイプ

品番:UWTC*4～(キャビネット奥行き 190)



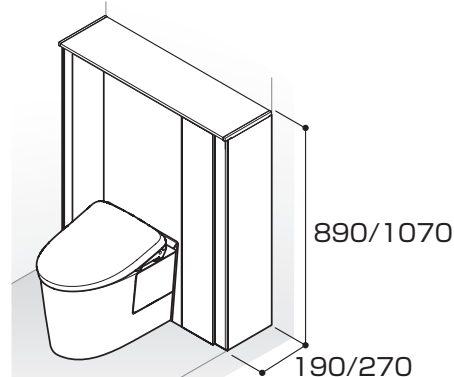
手洗器なし

まるごと収納タイプ

品番:UWTA*N～(キャビネットサイズ 270×1070)

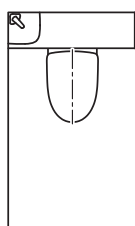
スリム収納タイプ

品番:UWTC*N～(キャビネットサイズ 190×890)

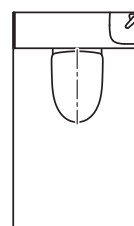


手洗器位置

左勝手



右勝手

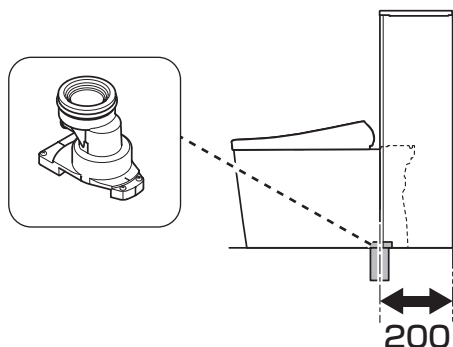


給排水タイプ

排水心200mm

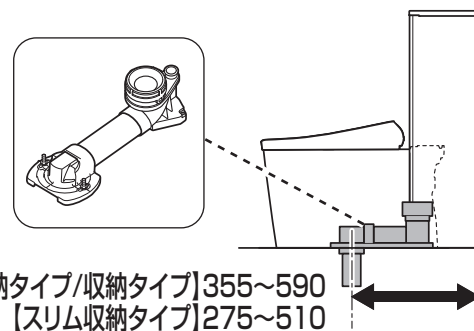
給水新設

既存給水流用(リモデル用)



排水心可変

既存給水流用(リモデル用)



[まるごと収納タイプ/収納タイプ] 355～590
[スリム収納タイプ] 275～510

情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 4

2. 取付前のご注意 ▶ 6

1	設置寸法	6
2	キャビネット扉の開閉範囲	6
3	排水位置	7
4	給水位置	7
5	水抜栓位置（水抜方式の場合）	8
6	補強材位置	9
7	電気配線	10
8	幅木	10
9	窓枠	11
10	必要工具	11

3. 部品の確認 ▶ 12

4. 施工ダイジェスト ▶ 16

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性が
ある内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する
可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告



分解禁止

修理技術者以外の方は分解したり、修理・改造は
しない
商品が破損し、けがや重大事故の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電気部品に触れない
感電の原因となります。



接触禁止

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



水場使用
禁止

浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
火災や感電の原因となります。
商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれ
があります。



禁止

指定する電源(AC100V)以外では使用しない
火災の原因となります。

電源コード、電源プラグが破損するようなことをしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因と
なります。

破損とは…

傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など

屋外および傾斜のあるような壁面、床面、振動の
激しい場所に取り付けない
取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれ
があります。

給水および排水管の真下部にコンセントを設置
したり、フレキホースと電源プラグ、コンセントを
接触させない
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電
の原因となります。

電源コード、電源プラグが傷んだりコンセントの差し
込みがゆるいまま使用しない
火災や感電の原因となります。

がたついているコンセントは使わない
火災や感電の原因となります。

器具取付用のねじ固定部の床・壁裏には、配管・配線
を通さない
火災や感電の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因と
なります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の
原因となります。

水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は
使用しない
皮膚の炎症などを起こす原因となります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く
電源コード、電源プラグの傷みによる火災や感電の原因となります。



アース接続

アース(D種接地)工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



必ず守る

コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に
記載された位置・方法・注意事項に従う
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や
感電の原因となります。

取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用
プラグ(現場手配)を使用する
取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。

警告

 必ず守る	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する商品が落下したり、外れてけがのおそれがあります。	
	石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。	手洗器クッション材のはり付けおよび必要箇所へのシリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実に行う水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。
	商品を取り付ける柱・間柱は腐食などで強度不足でないか確認する 商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。	

注意

 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルター、機能部フィルターを外さない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	フレキホースが破損するようなことをしない フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 破損とは… 傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	
	商品に乗らない、重い物を載せない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	
 必ず守る	給水フィルター、機能部フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 ※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。
	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	作業時は手袋、防じんマスクなど適切な安全防具を使用する けがのおそれがあります。	コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。
	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	給水ホースと分岐金具を正しく接続する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、物を載せたりしない 倒れや落下によりけがのおそれがあります。	ねじ部の固定は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。	水平器を用いて水平に設置する 物が落下してけがのおそれがあります。
	凍結による破損の予防を行う 凍結すると商品の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	商品周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 水が浸入して家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		便器の水たまり部を見て、封水が切れていないか確認する封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じる原因となります。

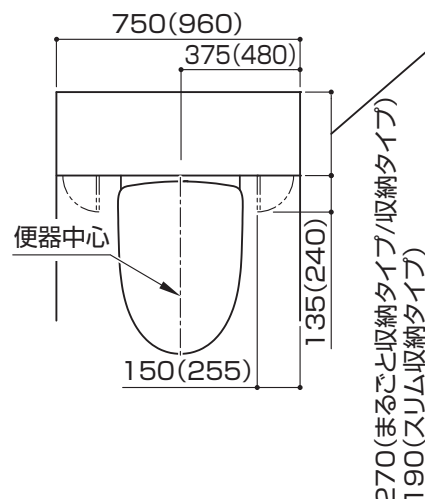
2. 取付前のご注意

- ・施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- ・便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署にご確認のうえ、その指示に従ってください。
- ・キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外のはらないでください。
- ・ボードアンカーは、引抜強度200N以上のものを使用してください。
- ・排水アジャスターを組み立てる際は、塩ビ用接着剤を全周に十分塗布し、最後まできちんと押し込んでください。水漏れのおそれがあります。

参照 ウォシュレットへの通電：ウォシュレットの施工説明書

2 キャビネット扉の開閉範囲

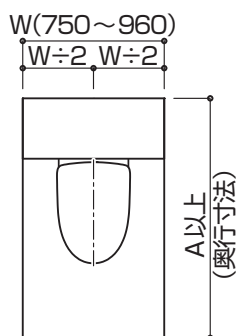
- ・図の扉開閉範囲内に障がい物がないことをご確認ください。
- ・図は間口750mmと960mmの場合です。
- ※() 寸法は間口960mmの場合。



270(まるごと収納タイプ/収納タイプ)
190(スリム収納タイプ)

1 設置寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。
範囲外の間口には対応できません。



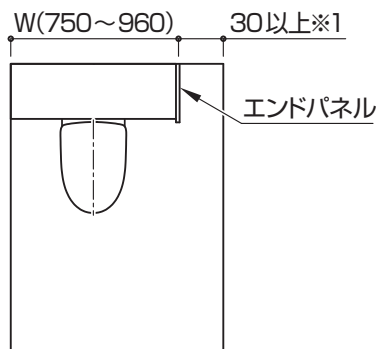
タイプ	A
まるごと収納タイプ/収納タイプ	1210
スリム収納タイプ	1130

エンドパネルを設置する場合

エンドパネルを利用して、壁とすき間を空けて設置することもできます。

ただし、以下条件の場合は設置できません。

- ・手洗器側への設置
- ・両側への設置

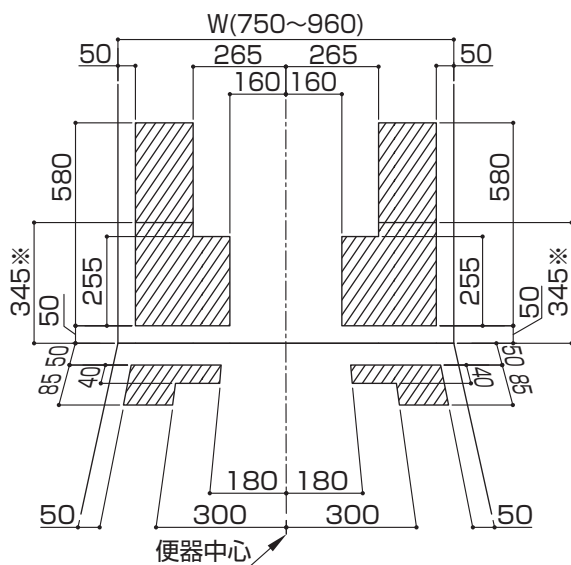


※図はエンドパネルLタイプの場合

※1 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

既存給水流用（リモデル用）

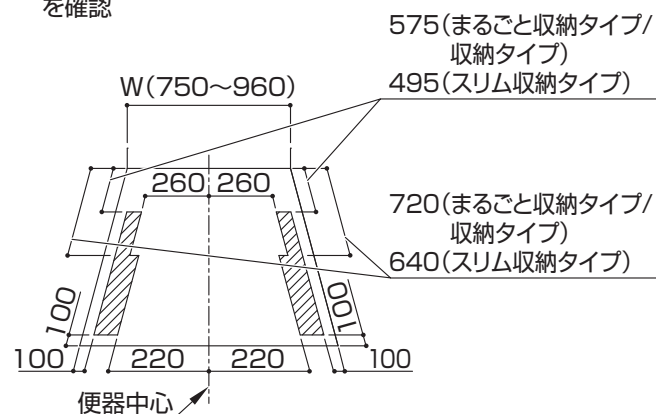
スリム収納タイプの場合



5 水抜栓位置（水抜方式の場合）

事前確認

- 紙巻器の設置位置を確認
※ 水抜栓高さが、450mmを超える場合は、紙巻器に干渉するおそれがあります。
- 棚付二連紙巻器を設置する場合は、棚板などと干渉しないかを確認

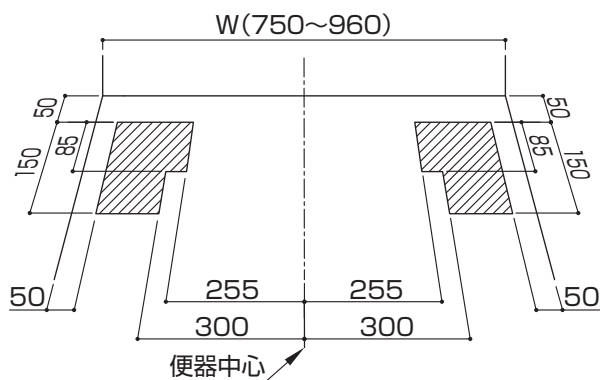


寒冷地 水抜方式

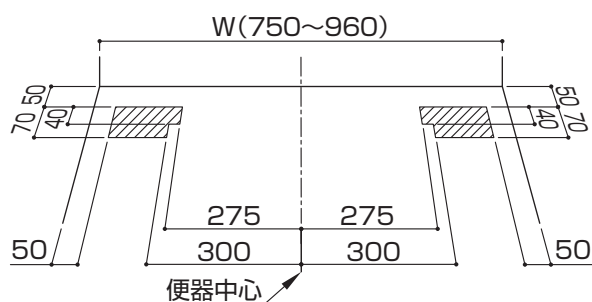
給水位置が便器中心より右側の場合、
以下部材を別途ご発注ください。

- ・ 延長用ホース(TN98L2X30)
- ・ 給水アダプター(TN48)
- ・ ウォシュレット用給水ホース(TCA525)

まるごと収納タイプ/収納タイプの場合



スリム収納タイプの場合



6 補強材位置

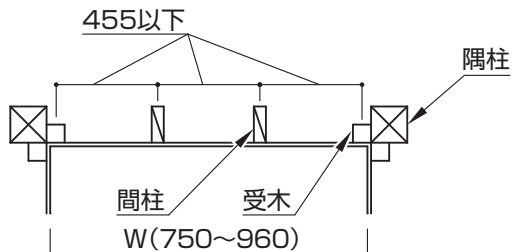
ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
[URL]
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/eito/kinejiichijoho/kinejiichijoho.htm>



木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。

大便器キャビネット部

間柱および受木、または軽量鉄骨(スタッド)が所定の位置にあることをご確認ください。



壁裏補強なし

後壁について

壁裏補強なしで施工する場合、大便器キャビネットを間柱および受木または軽量鉄骨(スタッド)に固定します。

横壁について

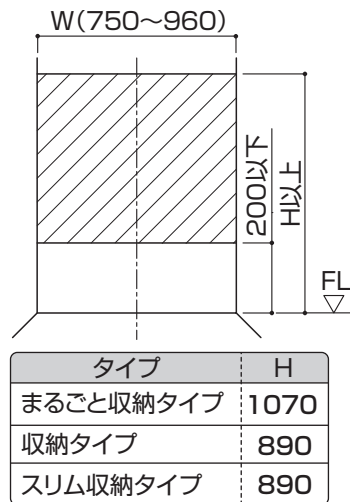
壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー(オプション: UGA490A)をご使用ください。

壁裏補強あり

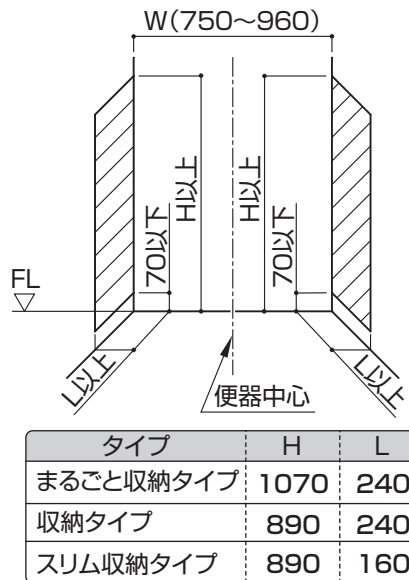
- ・間柱および受木が所定の位置にない場合、壁裏補強が必要です。
図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。

参照 周辺部材の取り付け：各施工説明書

後壁について



横壁について

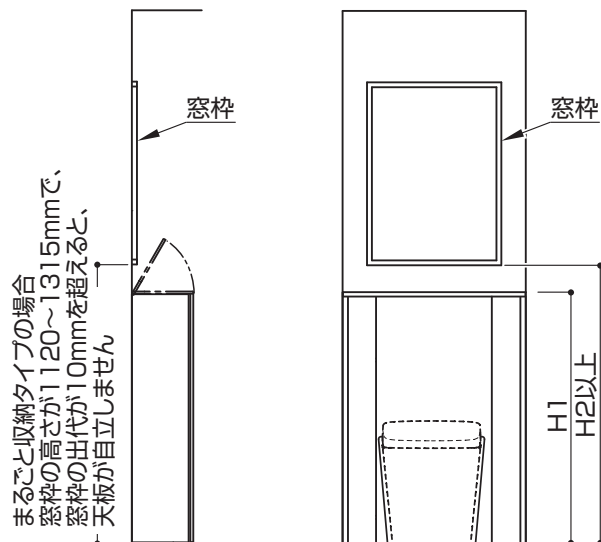


9 窓枠

壁に窓枠や腰壁の笠木などの突起物がある場合、図のような制約が付きまます。

事前に商品と干渉しないことをご確認ください。

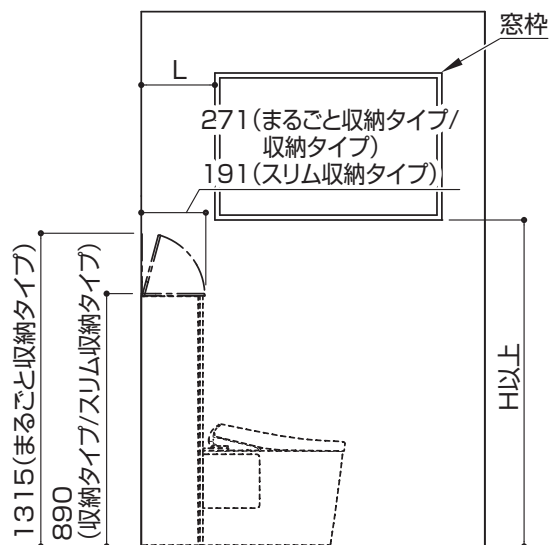
大便器後壁に窓がある場合



タイプ	H1	H2
まるごと収納タイプ	1070	1120
収納タイプ/スリム収納タイプ 手洗器あり	890	1020
スリム収納タイプ 手洗器なし	890	940

※収納タイプ/スリム収納タイプの場合、天板は開きません。

大便器横壁に窓がある場合



タイプ	H	
	L=315以上	L=315未満
まるごと収納タイプ	—	1345
収納タイプ/スリム収納タイプ 手洗器あり	—	1020
スリム収納タイプ 手洗器なし	—	940

※収納タイプ/スリム収納タイプの場合、天板は開きません。

10 必要工具

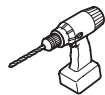
一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具をご用意ください。



電動ドライバー
・(+) 65mm 、 200mm
#2ビット
・(+) 200mm
#3ビット



ドライバー
(給水フィルター清掃用)



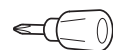
電動ドリル
 $\phi 3$ 、 $\phi 4.5$ 、 $\phi 5$ 、 $\phi 10$



のこぎり



ナット締付工具
(品番:TZY15N
またはTZ15L)
(手洗器ありの場合)



スタビ
ドライバー(+)
#2ビット



プラスドライバー
 65mm 、 200mm
#2ビット



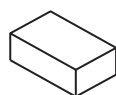
シールテープ

2

取付前のご注意

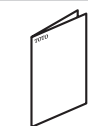
3. 部品の確認

専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。



詰め合わせ箱

施工説明書



施工説明書
(1冊)



ちらし
(1枚)

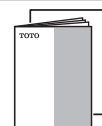


クッション材
(1個)



ラベル
(4枚)

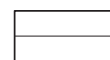
取扱説明書



取扱説明書・ちらし
(1セット)



開閉工具
(1個)



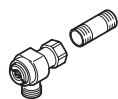
品番表示
ラベル
(2枚)

止水栓

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付けてください。

【給水新設用】

壁給水



(1セット)

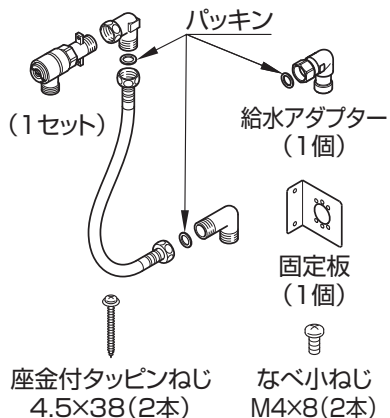
床給水



(1セット)

【既存給水流用】

※水抜方式の場合は【床給水】を使用します。



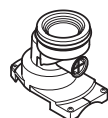
座金付タッピンねじ
4.5×38(2本)

なべ小ねじ
M4×8(2本)

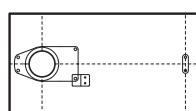
排水ソケットセット

排水ソケットユニット

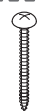
【まるごと収納タイプ/収納タイプ・排水心200】



排水ソケット
(1個)

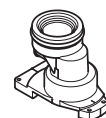


位置決めシート
(1枚)

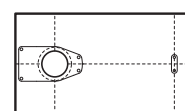


トラスタッピンねじ
5×50(4本)

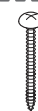
【スリム収納タイプ・排水心200】



排水ソケット
(1個)



位置決めシート
(1枚)



トラスタッピンねじ
5×50(4本)

【排水心可変】



便器接続部
(1個)



床フランジ接続部
(1個)



横引管
(1個)



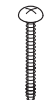
Pシール
(金属フランジ用)
(1個)



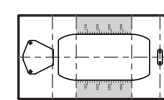
Pシール
(樹脂フランジ用)
(1個)



Tボルト
(2本)



トラスタッピンねじ
6×60(2本)



位置決めシート
(1枚)

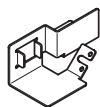
付属材セット (キャビネット)

取付材セット

※図はスリム収納
タイプの場合



カバー
(配管)
(1個)

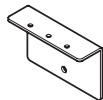


取付材 (洗浄レバー)
(1個)



トラス
タッピンねじ
5×14(2本)

付属材セット



アングル
(1個)



トラス
タッピンねじ
4×40(2本)



バインド
タッピンねじ
4×8(2本)



洗浄レバー
(1個)

ねじセット (キャビネット用)



ボードアンカー
(4本)



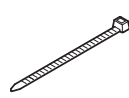
トラス
タッピンねじ
4×40(6本)

【手洗器ありの場合】

取付材セット



取付材
(1個)



結束バンド
(2個)

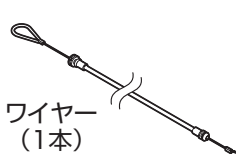


棚ダボ
(1本)



トラス
タッピンねじ
4×10(2本)

ワイヤーセット



ワイヤー
(1本)

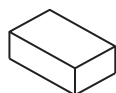
ホースクランプセット



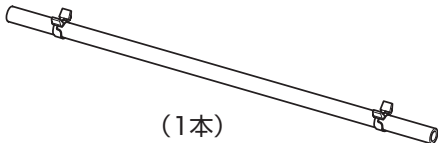
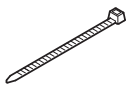
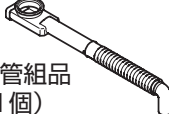
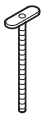
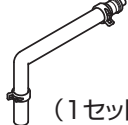
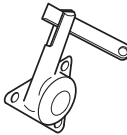
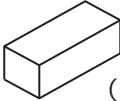
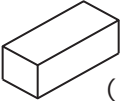
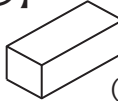
ホース
クランプ
(2個)



トラス
タッピンねじ
4×12(2本)



詰め合わせ箱（つづき）

給水ホースセット		ホースクランプセット※水抜方式の場合	
 (1本)		 ホースクランプ (1個)	 トラスタッピンねじ 4×40(1本)
付属材セット（手洗器）※手洗器ありの場合			
取付材セット	スパウト	付属材セット	接続管組品
 取付材 (1個)  トラス タッピンねじ 4×10(2本)	 (1個)	排水ソケット組品  排水ソケット (1個)  パッキン (排水口) (1個) 付属材セット  クイック ファスナー (1個)  結束バンド (1個)  ケーブルクリップ (1個) 接続管組品  接続管組品 (1個)  排水管カバー※ (1個) ※流動方式の場合のみ	
クッション材	付属材セット	取付材セット(手洗器)	ねじセット(排水ソケット)
 クッション材 (3個)	 スパウト 固定用ナット (1個)  パッキン(スパウト用) (1個)	 Tボルト M4×70(2個)  平座金 M6(2個)  ちょうナット4 (2個)  ナット4 (2個)	 ボルト M4×20(2個)  ワッシャー (2個)
給水ホースセット	天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合		
 (1セット)	スライド丁番セット	ダンパーセット	
	 スライド丁番 (2個)  皿タッピンねじ 3.5×14(4本)	 ダンパー 本体 (1個)  ダンパー 座金 (1個)  トラス小ねじ M4×8(5本)  トラス小ねじ M4×5(1本)	
選択商品			
紙巻器（メタル製/樹脂製）	ハンドグリップ	タオル掛け	
 (1箱)	 (1箱)	【壁取付タイプ】  (1箱)	

3

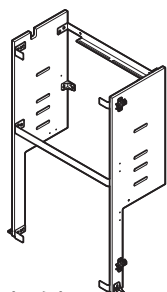
部品の確認



コアキャビネット

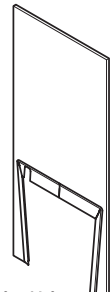
コアキャビネット

コアキャビネット組品



(1台)

前板組品

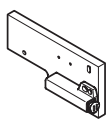


(1枚)

※図はまるごと収納タイプの場合

側板組品(右)

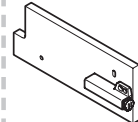
【収納タイプ/スリム収納タイプ】 【まるごと収納タイプ】



側板組品
(1枚)



トラス
タッピンねじ
4×40(2本)



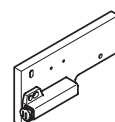
側板組品
(1枚)



トラス
タッピンねじ
4×40(2本)

側板組品(左)

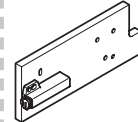
【収納タイプ/スリム収納タイプ】 【まるごと収納タイプ】



側板組品
(1枚)



トラス
タッピンねじ
4×40(2本)



側板組品
(1枚)

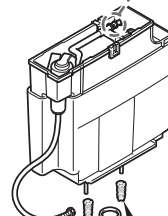


トラス
タッピンねじ
4×40(2本)

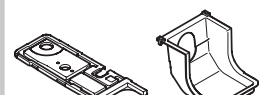
セットタンク

ピン(1個)

※ピンはジョイント端に付いています。



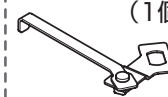
固定ナット
パッキン
(1個)



カバー(A) カバー(B)
(1個) (1個)

【流動方式の場合】

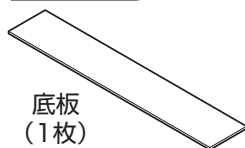
レバー止め
(1個)



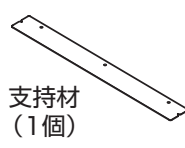
流動レバー
(1個)

【まるごと収納タイプの場合】

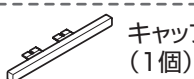
底板セット



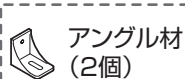
底板
(1枚)



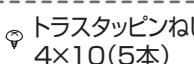
支持材
(1個)



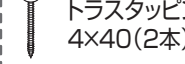
キャップ
(1個)



アングル材
(2個)

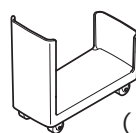


トラスタッピンねじ
4×10(5本)



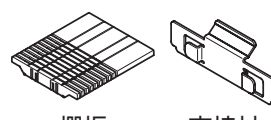
トラスタッピンねじ
4×40(2本)

引き出しラック



(1台)

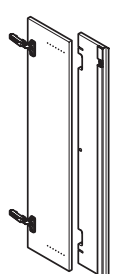
棚板セット



棚板
(4枚)

支持材
(4個)

扉セット (左)

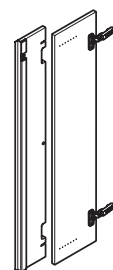


扉組品
(1セット)

トラス
タッピンねじ
4×20(3本)

※対応間口によって裏扉の仕様(切り欠きの有無)は異なります。

扉セット (右)



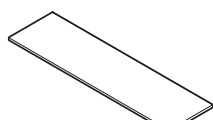
扉組品
(1セット)

トラス
タッピンねじ
4×20(3本)

※対応間口によって裏扉の仕様(切り欠きの有無)は異なります。

天板セット

【手洗器なし】



天板
(1枚)

支持材セット

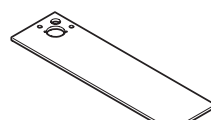
【スリム収納タイプの場合】



支持材
(1個)

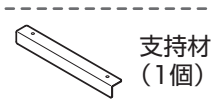
トラスタッピンねじ
4×8(2本)

【手洗器あり】



天板
(1枚)

支持材セット



支持材
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

取付材セット(横さん)



横さん
(1本)

※図はまるごと収納タイプの場合



皿タッピンねじ
4×50(3本)

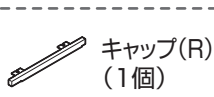
キャップセットL



キャップ(L)
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

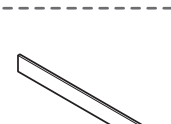
キャップセットR



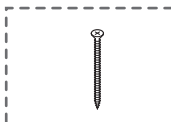
キャップ(R)
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

取付材セット(横さん)

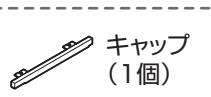


横さん
(1本)



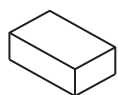
皿タッピンねじ
4×50(3本)

キャップセット



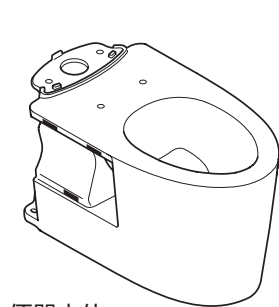
キャップ
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

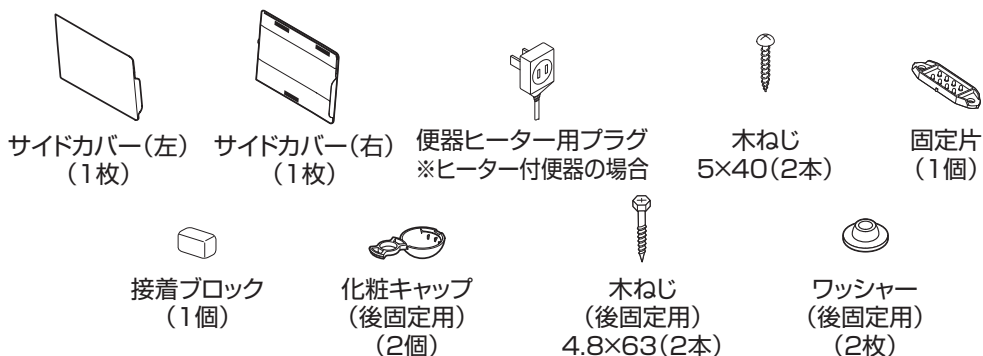


その他包装

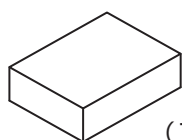
大便器



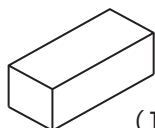
便器本体
(1台)



ウォシュレット



(1箱)



(1箱)

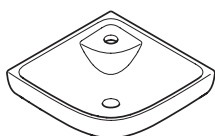
便器洗浄ユニット

<下記部品は使用しません>



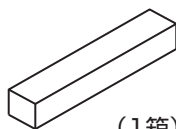
選択商品

手洗器



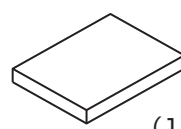
(1台)

木製手すり



(1箱)

化粧鏡



(1箱)

オプション

エンドパネル



エンドパネル
(1枚)

施工部材セット(エンドパネル用)



アングル材
(3個)

ねじセット



トラス小ねじ
4×18(2本)



トラスタッピンねじ
4×30(9本)



トラスタッピンねじ
4×12(8本)

ボードアンカー

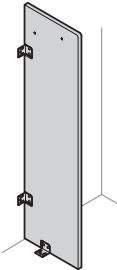
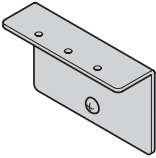
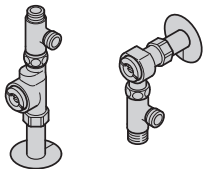
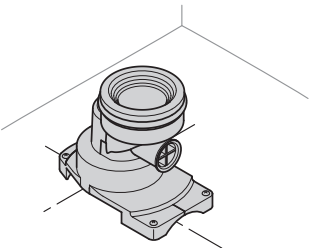
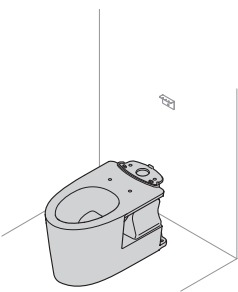
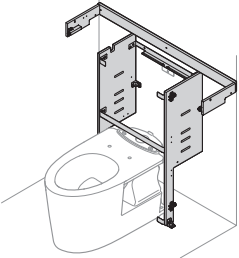
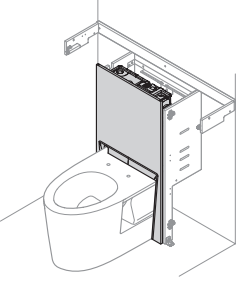
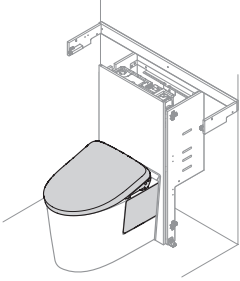
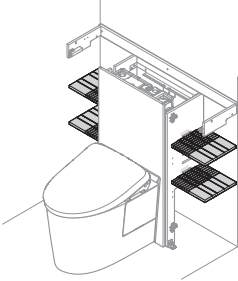
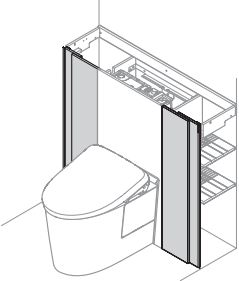
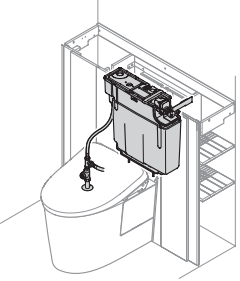
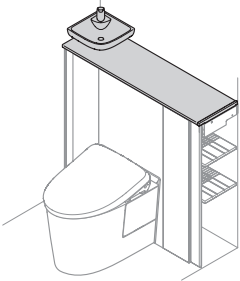
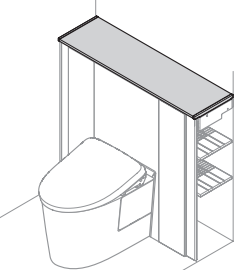
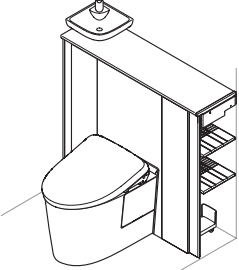


※タイプ・現場状況により
必要数量が異なります。

4. 施工ダイジェスト

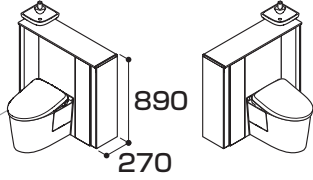
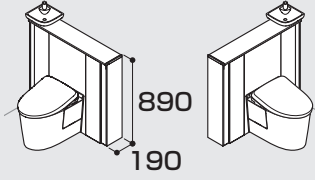
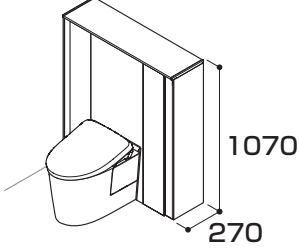
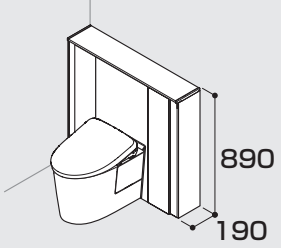
施工ダイジェストはおおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。

施工にあたっては、手順編の内容を十分に確認し、安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。

1. エンドパネル(オプション)	2. アングル	3. 止水栓	4. 排水ソケット
			
5. 大便器	6. コアキャビネット	7. セットタンク	8. ウォシュレット
			
9. 棚板	10. 扉	11. 試運転・確認	12. 天板 (手洗器あり)
			
13. 天板 (手洗器なし)	14. 仕上げ		
			

手順編

※商品タイプの確認 ▶ P.2

手洗器あり		手洗器なし	
収納タイプ	スリム収納タイプ	まるごと収納タイプ	スリム収納タイプ
左勝手の場合 右勝手の場合 	左勝手の場合 右勝手の場合 		

1. エンドパネル（オプション）	▶ 18
2. アングル	▶ 19
3. 止水栓	▶ 20
4. 排水ソケット	▶ 24
5. 大便器	▶ 29
6. コアキャビネット	▶ 31
7. セットタンク	▶ 35
8. ウォシュレット	▶ 40
9. 棚板	▶ 44
10. 扉	▶ 46
11. 試運転・確認	▶ 48
12. 天板（手洗器あり）	▶ 56
13. 天板（手洗器なし）	▶ 62
14. 仕上げ	▶ 66

マーク説明（例）



寒冷地仕様の場合を示します。



下穴をあけてください。
（例：φ3の場合）



手締めで
電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



シール
シールテープを巻いて
ください。



脱脂
脱脂用アルコールで
脱脂してください。

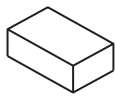


外周塗布
塩ビ用接着剤を塗布して
ください。
（例：塗布の場合）

1. エンドパネル (オプション)

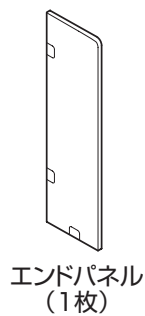
エンドパネルなしの場合は
P.19 「2. アングル」 へ

使用部材



その他包装

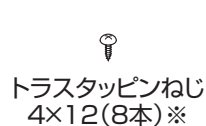
エンドパネル



施工部材セット(エンドパネル用)



ねじセット



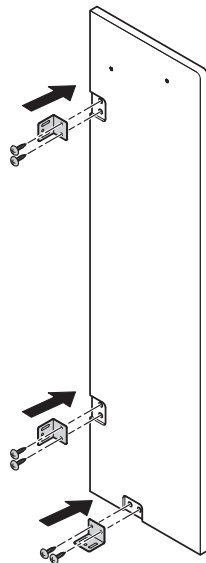
※残り2本は3.止水栓で使用

1 アングル材の取り付け

1 手締めで



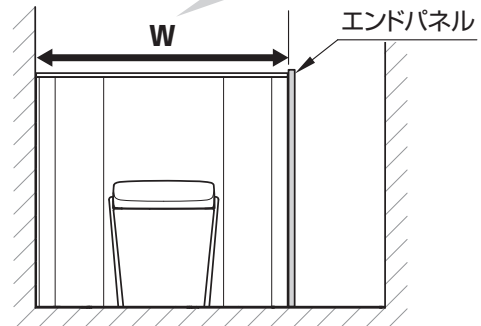
トラスタッピンねじ
4×12(6本)



3 エンドパネルの取り付け

【完成イメージ】

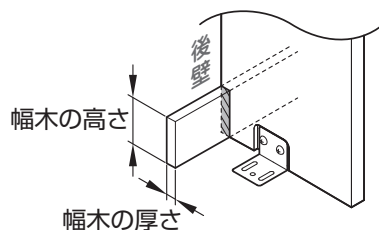
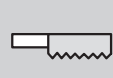
1 測定



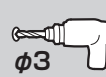
2 エンドパネルのカット

幅木がある場合

1 測定 → けがき → カット



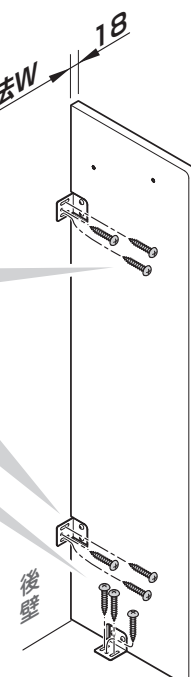
2 けがき → 下穴



3 トラスタッピンねじ 4×30(9本)



間口寸法W

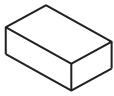


2. アングル

2

アングル

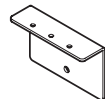
使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

付属材セット



アングル
(1個)



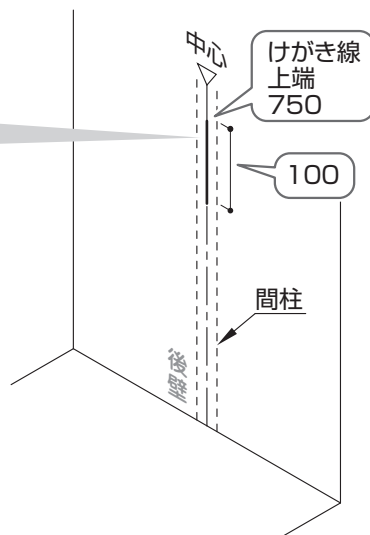
トラス
タッピンねじ
4×40(2本)

1 アングルの取り付け

1 けがき

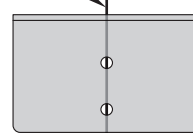


【壁裏補強なしの場合】
間柱中心
【壁裏補強ありの場合】
間口中心



2 けがき線と固定穴の位置をあわせる

けがき線



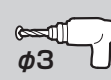
アングル

3 水平確認

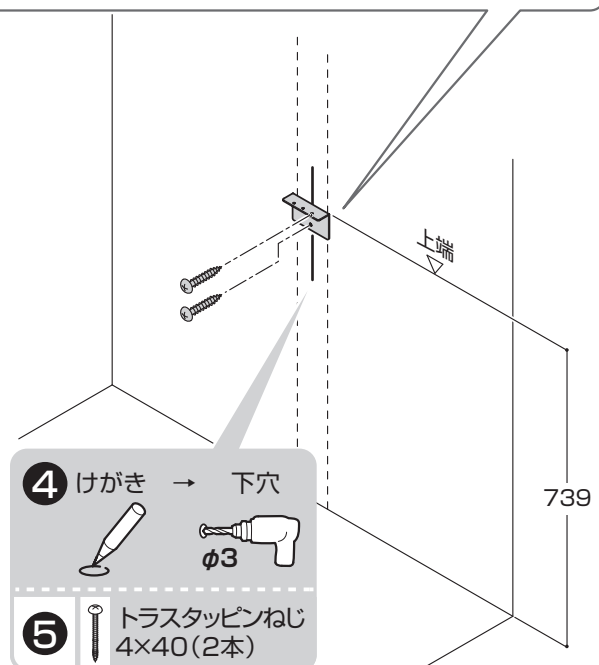


アングルの水平が出ていないと、キャビネット全体が傾き、扉の開閉ができなくなる可能性があります。

4 けがき → 下穴

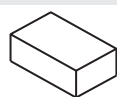


5 トラス タッピンねじ 4×40(2本)



3. 止水栓

使用部材



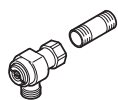
詰め合わせ箱

止水栓

付属材セット (キャビネット)

【給水新設用】

壁給水



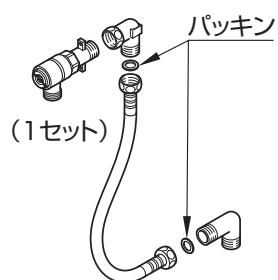
(1セット)

床給水



(1セット)

【既存給水流用】 ※水抜方式の場合は【床給水】を使用します。



(1セット)

パッキン



固定板
(1個)

なべ小ねじ
M4×8 (2本)

座金付タッピンねじ
4.5×38 (2本)

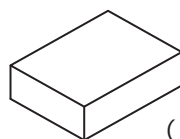


カバー
(配管)
(1個)



その他包装

ウォシュレット



(1箱)

MEMO

給水新設の場合

▶P.21

既存給水流用 一般地/ 流動方式の場合

▶P.22

既存給水流用 水抜方式の場合

▶P.23

給水新設

1 止水栓・分岐金具の取り付け

⚠ 注意

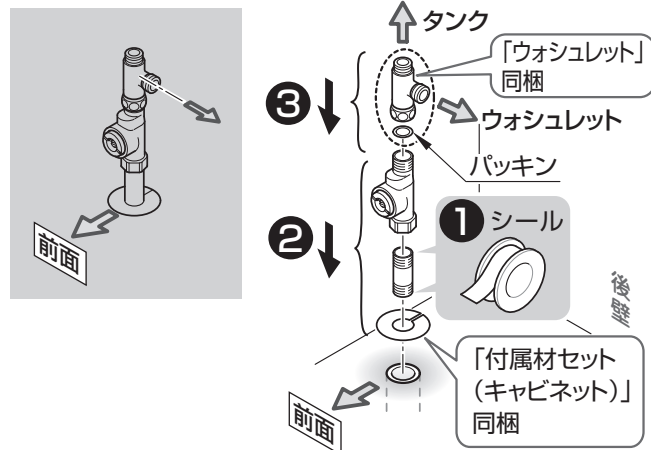


必ず守る

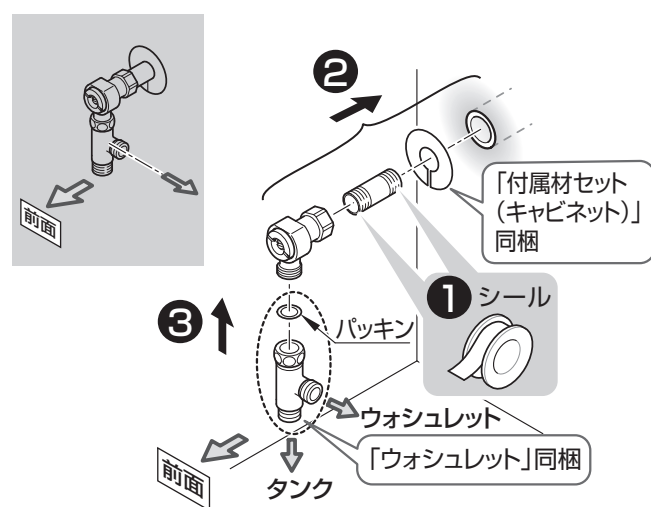
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがない
ため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみ
や異物詰まりによる止水・吐水不良を起こす
おそれがあります。

※取付位置は左右勝手とも正面向かって左となります

床給水



壁給水



🔧 P.24 4.排水ソケットへ

MEMO

3

止水栓

既存給水流用 一般地 / 流動方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

注意



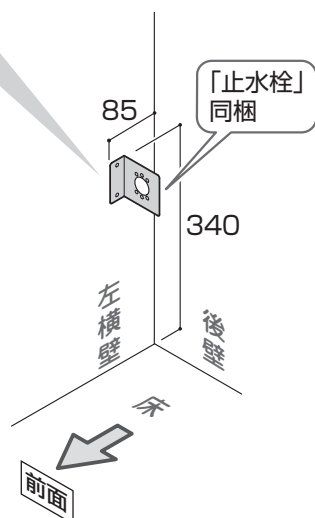
必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがないた
め給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや
異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすお
それがあります。

1 けがき → 下穴※

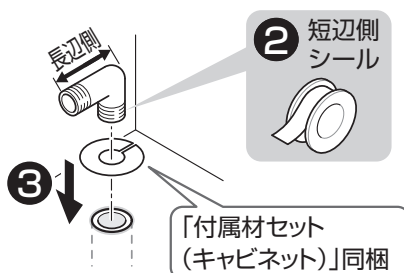


※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)

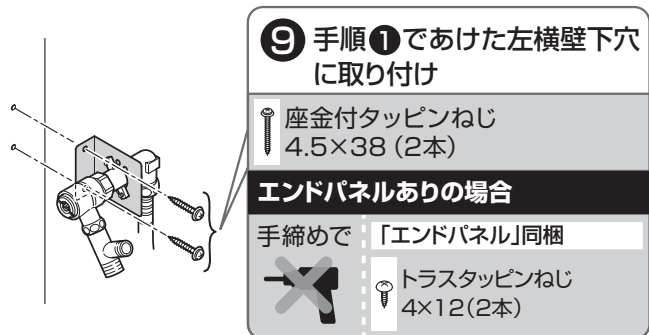
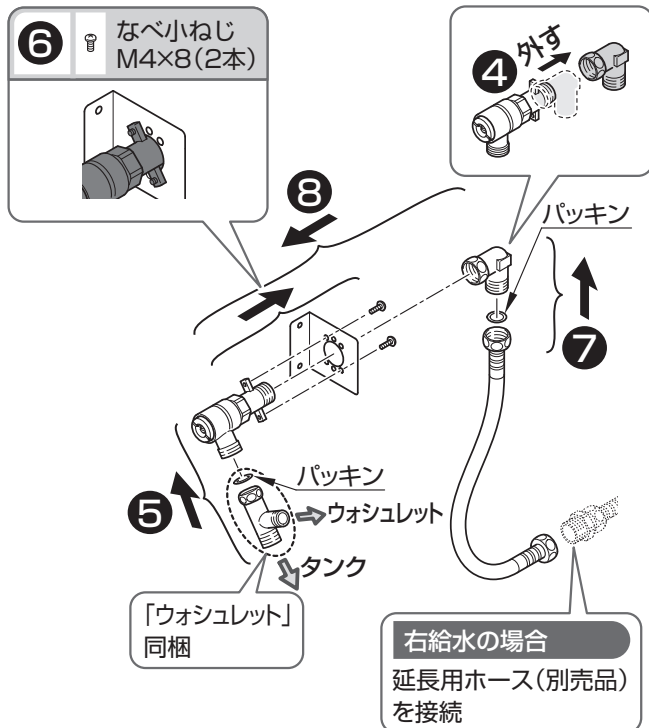
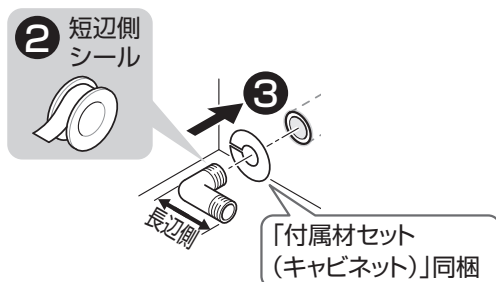


※図は止水栓が左側にある場合

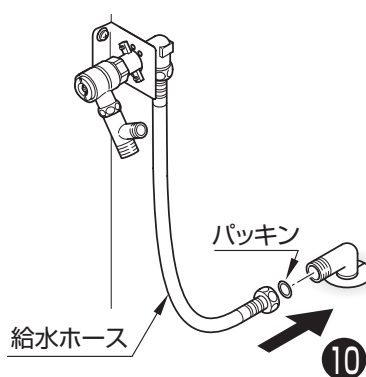
床給水



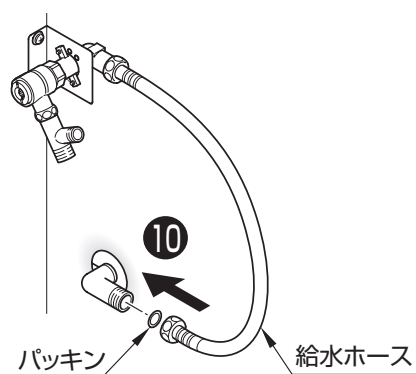
壁給水



床給水



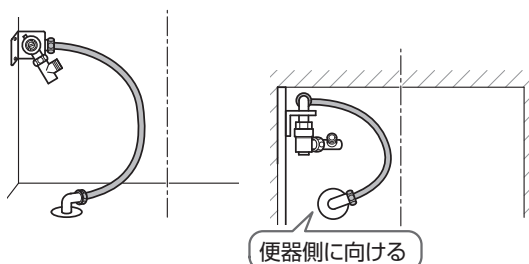
壁給水



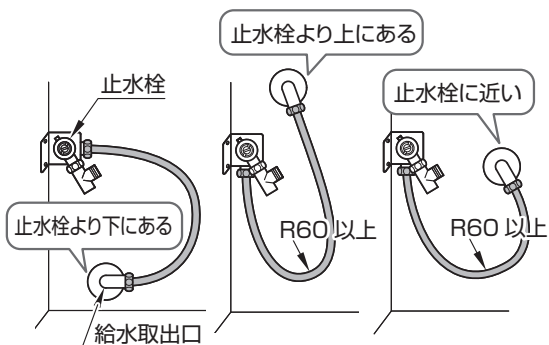
2 給水ホースの取り回し

給水位置が便器中心より左の場合

床給水

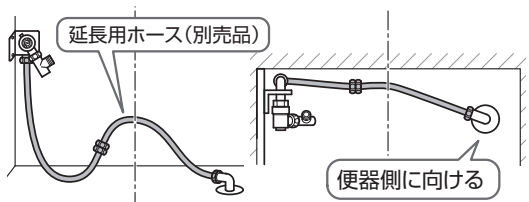


壁給水

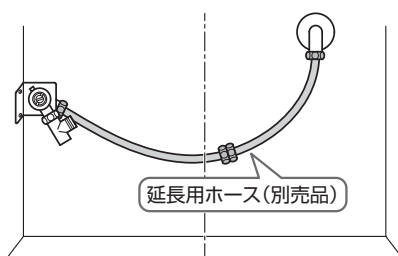


給水位置が便器中心より右の場合

床給水



壁給水



🔗 P.24 4.排水ソケットへ

既存給水流用 水抜方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

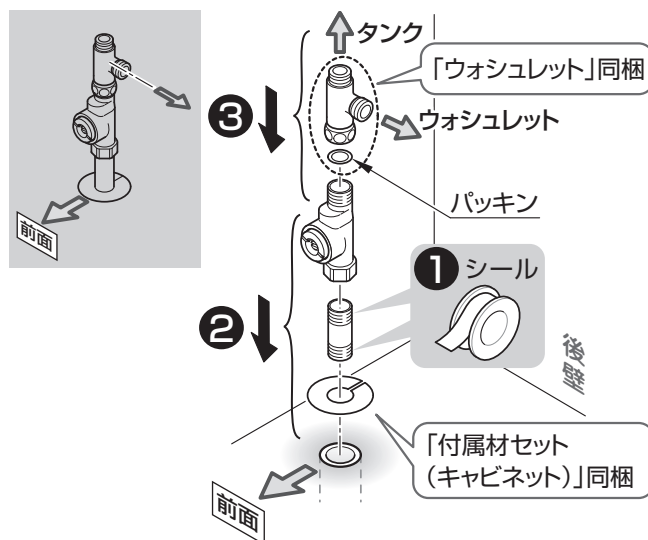
⚠ 注意



必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

※止水栓が右側にある場合、左右反転となります。

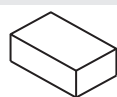


3

止水栓

4. 排水ソケット

使用部材



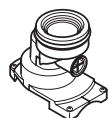
詰め合わせ箱

排水ソケットセット

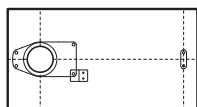
排水ソケットユニット

【まるごと収納タイプ/収納タイプ・排水心200】

【スリム収納タイプ・排水心200】



排水ソケット
(1個)



位置決めシート
(1枚)



トラスタッピンねじ
5×50(4本)

※図はまるごと収納タイプ/収納タイプ・排水心200

【排水心可変】



便器接続部
(1個)



床フランジ接続部
(1個)



横引管
(1個)



Pシール
(金属フランジ用)
(1個)



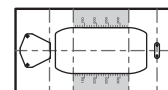
Pシール
(樹脂フランジ用)
(1個)



Tボルト
(2本)



トラスタッピンねじ
6×60(2本)



位置決めシート
(1枚)

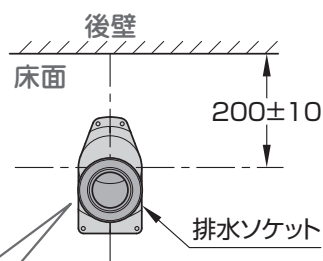
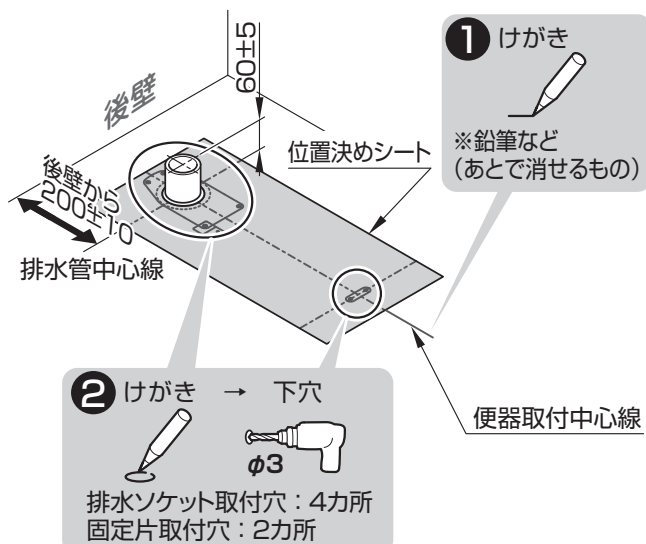
MEMO

排水心 200mmの場合	まるごと収納タイプ/収納タイプ	▶P.25
	スリム収納タイプ	▶P.26
排水心可変の場合	全タイプ共通	▶P.27

排水心 200mm

1 排水ソケットの取り付け

まるごと収納タイプ/収納タイプ



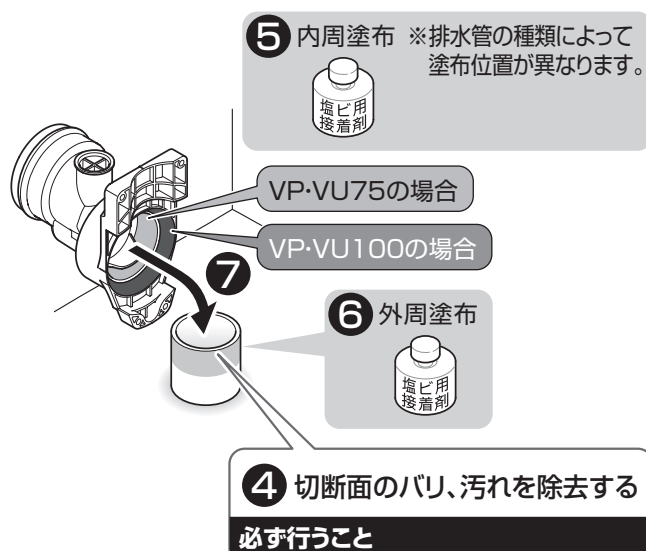
③ 向き確認

排水ソケットを間違った方向に取り付けると、便器の施工ができなくなります。

! 注意



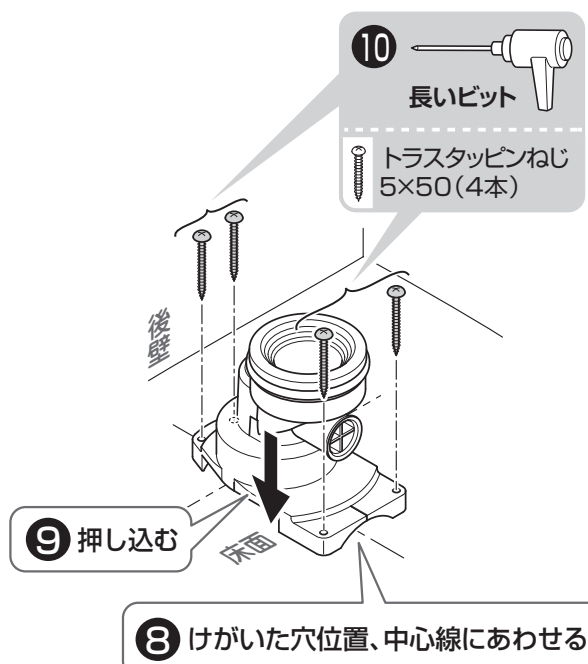
接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方の正しい位置に塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。また、臭気漏れの原因となります。



! 注意

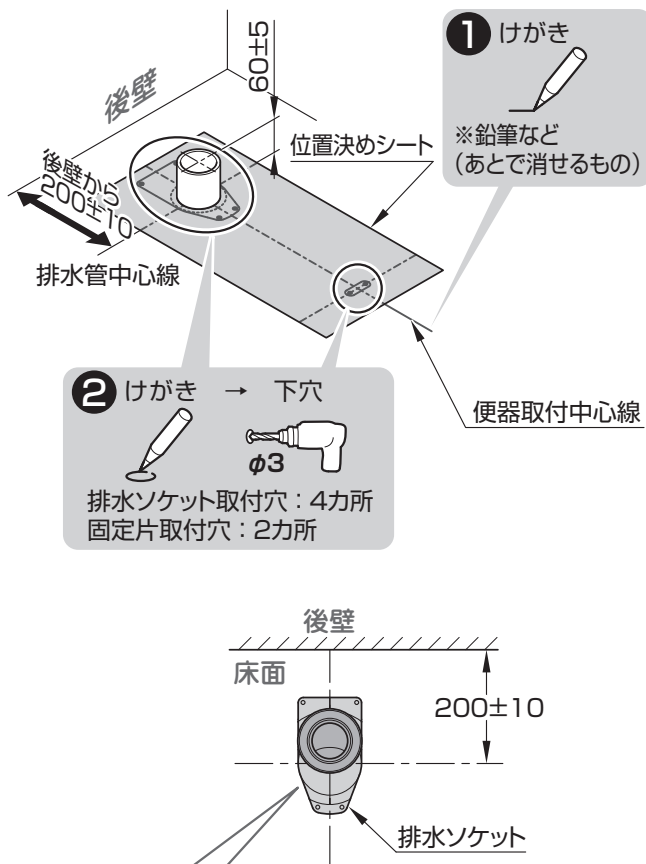


排水ソケットは下面が床面に当たるまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。また、臭気漏れの原因となります。



P.29 5.大便器へ

スリム収納タイプ



③ 向き確認

排水ソケットを間違った方向に取り付けると、便器の施工ができなくなります。

⚠ 注意



必ず守る

接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方の正しい位置に塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。また、臭気漏れの原因となります。

⑤

内周塗布 ※排水管の種類によって塗布位置が異なります。



VP・VU75の場合

VP・VU100の場合

⑥

外周塗布



④

切断面のバリ、汚れを除去する

必ず行うこと

⚠ 注意



必ず守る

排水ソケットは下面が床面に当たるまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。また、臭気漏れの原因となります。

⑩

長いビット

トラスタッピンねじ
5×50 (4本)

⑨

押し込む

⑧

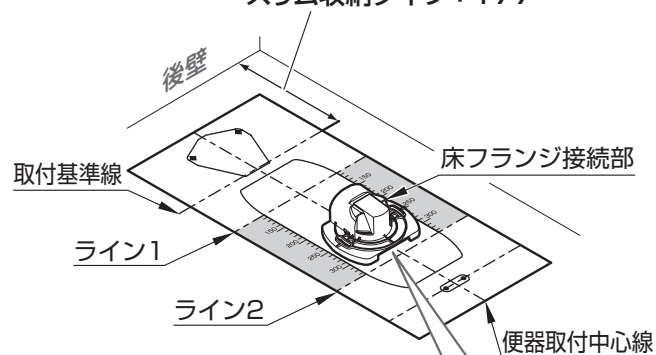
けがいた穴位置、中心線にあわせる

排水心可変

1 床フランジ接続部の仮設置

① Pシールを取り除く

② 位置決めシートを配置する

まるごと収納タイプ/収納タイプ：257
スリム収納タイプ：177③ 床フランジ接続部を
既設フランジの上に
仮置き

2 排水ソケットの組み立て

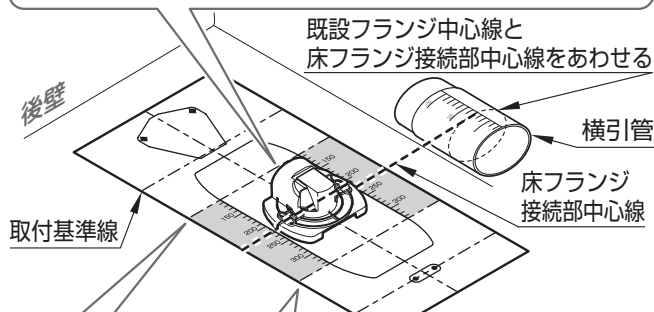
! 注意



必ず守る

切断後、バリを取り除く

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

① 同じ目盛り位置で横引管を真っすぐに切断する
(例)測定寸法が250mmの場合【ライン1の場合】
横引管は不要【ライン2の場合】
横引管のカットは不要

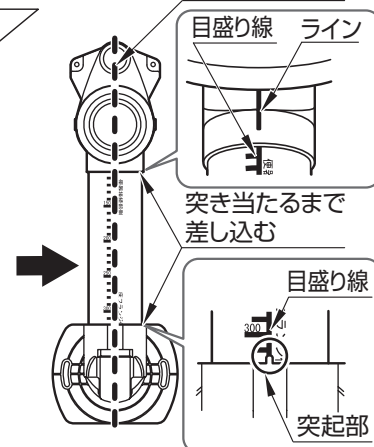
! 注意



必ず守る

横引管は中心をあわせ、最後まできちんと押し込む

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

床面に対してがたつきがないように接着する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。② 【横引管を使用しない場合】
この面にも塩ビ用接着剤を
全周に十分塗布する。③ ラインと突起部を目盛り線と
あわせて組み立てる
中心をあわせる④ 床フランジ接続部を仮置きして、
がたつきがないか必ず確認する

3 排水ソケットの取り付け

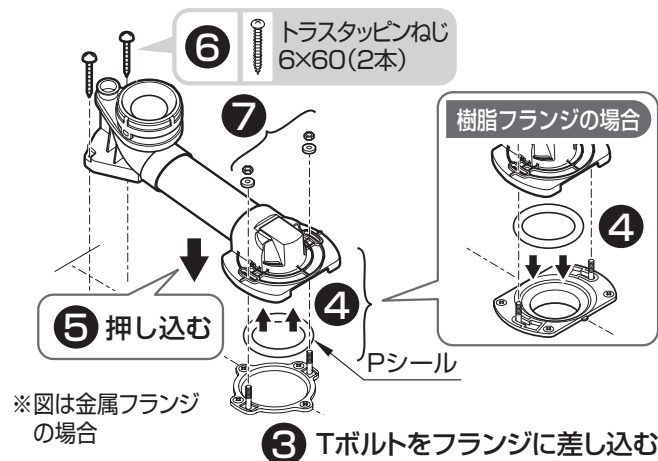
まるごと収納タイプ/
収納タイプ: 257
スリム収納タイプ: 177



2 けがき → 下穴
排水ソケット取付穴: 2カ所
固定片取付穴: 2カ所



1 けがき
※鉛筆など
(あとで消せるもの)



※図は金属フランジ
の場合

MEMO

注意

Pシール取り扱い上の注意

- ・既設の床フランジのタイプにあわせ、金属フランジ用Pシール(補修品番: TH633)または、樹脂フランジ用Pシール(補修品番: TH633-3)を使用する
- ・既設のフランジタイプによって、Pシールの取付方法が異なるので注意する

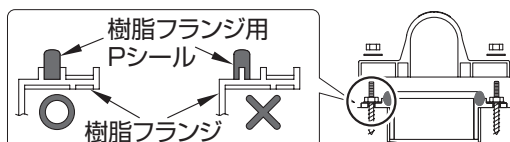
Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり、汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

【樹脂フランジ用】

Pシールは必ずフランジ側にセットしてから、排水ソケットを上から押し付けてください。



必ず守る



Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

【金属フランジ用】

Pシールは必ず床フランジ接続部(排水アジャスター)にはめてから、フランジに押し付けてください。



【床フランジ接続部裏面】

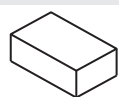
※図は金属フランジの場合
Pシール

斜線内にはみ出さないこと



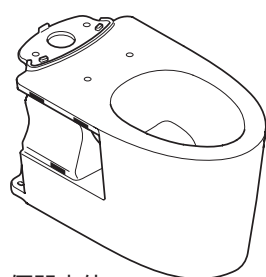
5. 大便器

使用部材



その他包装

大便器



便器本体
(1台)



便器ヒーター用プラグ
※ヒーター付便器の場合



木ねじ
5×40(2本)



接着ブロック
(1個)



化粧キャップ
(後固定用)
(2個)



木ねじ
(後固定用)
4.8×63(2本)

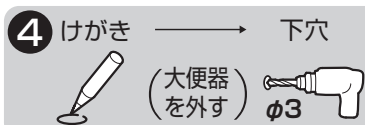


ワッシャー
(後固定用)
(2枚)



固定片
(1個)

1 大便器固定の準備



2 便器の排水穴を持つ

結露防止カバーは
取り外さない



センターラベル

3 床にけがいた中心線とセンターラベルをあわせて置く

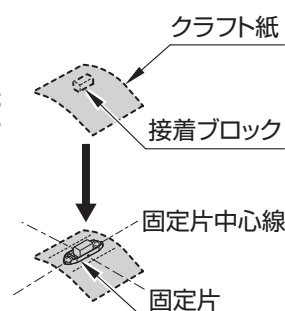


固定片

5 便器をいったん外す

2 大便器の固定

1 接着ブロックをクラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す



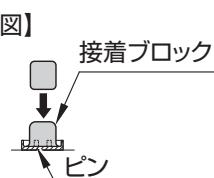
【接着ブロックについて】

- ・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を下図のように整えてください。
- ・接着ブロックの方向性は特にありません。
- ・気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。その場合は、接着ブロックをあたたためて柔らかくしてからご使用ください。

【上面図】

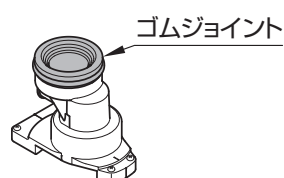


【側面図】



参照 接着ブロック同梱の注意書

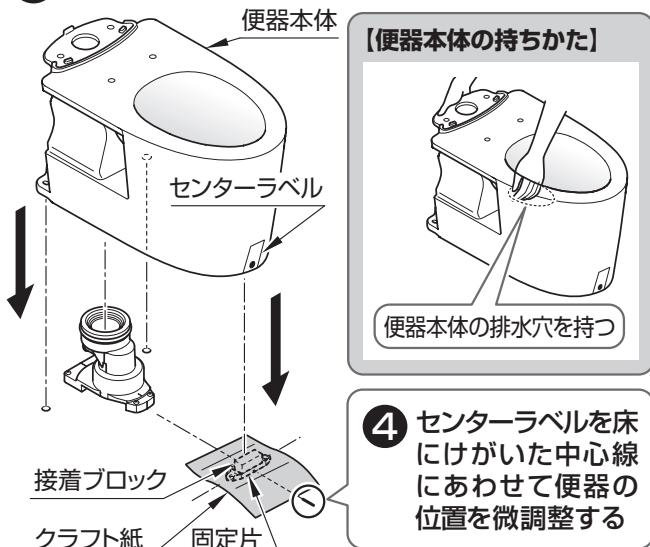
2 接続部周辺の汚れを除去する



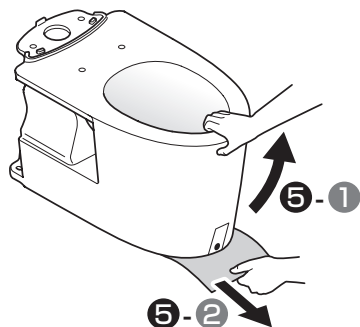
【便器本体背面図】



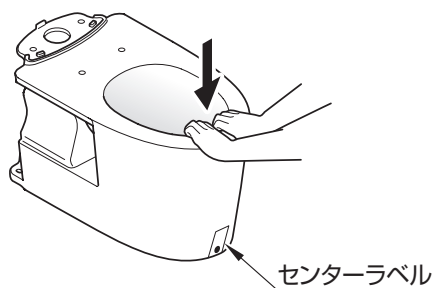
③ 便器排水口を排水ソケットに差し込む



⑤ 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く

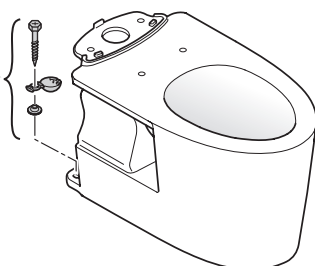
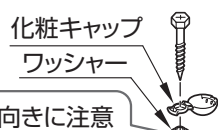


⑥ 接着ブロックがつぶれ、便器本体が床につくまでしっかりと押さえ、センターラベルをはがす



⑦ 木ねじ(後固定用) 4.8×63(2本)

最後の増し締めは、手締めにより行い便器を割らないこと

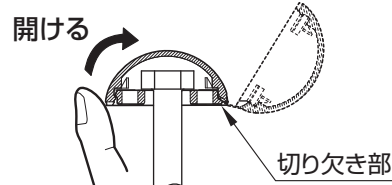


3 化粧キャップ付きねじの固定方法

取り付けかた

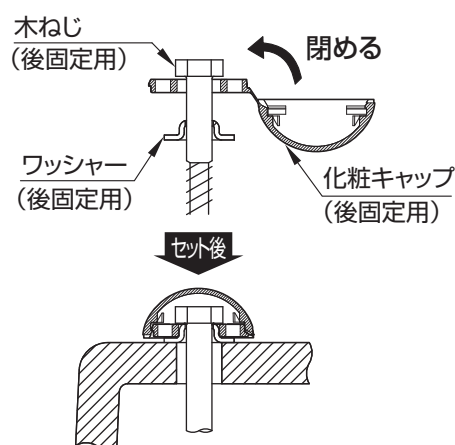
① 化粧キャップを開ける

木ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。



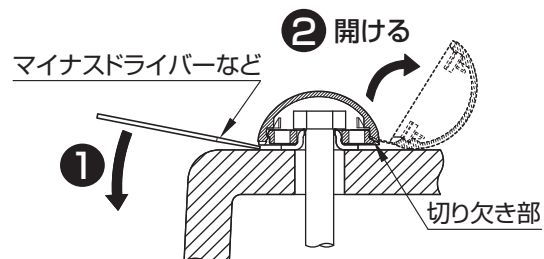
② 木ねじを取り付け、化粧キャップを閉める

木ねじを取付後、化粧キャップを矢印の方向に「パチッ」と音がするまで押し込む。



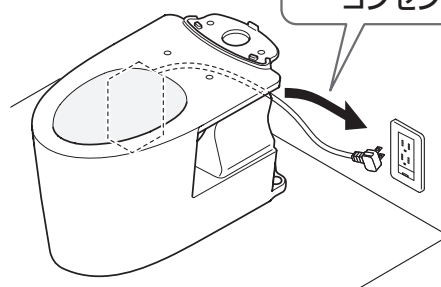
取り外しかた

マイナスドライバーなどを、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開ける。



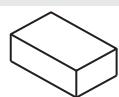
ヒーター付便器

③ 電源コード取り回し コンセント側へ



6. コアキャビネット

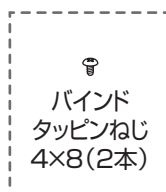
使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

付属材セット



ねじセット(キャビネット用)

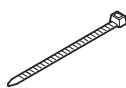


【手洗器ありの場合】

取付材セット



取付材
(1個)

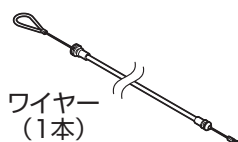


結束バンド
(2個)※

※残り1個は7.セットタンクで使用



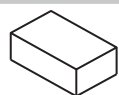
ワイヤーセット



ホースクランプセット



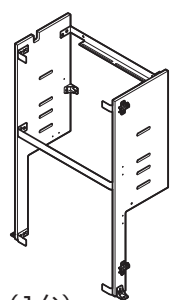
ホース
クランプ
(2個)



コアキャビネット

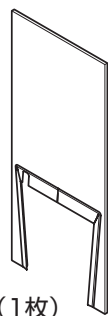
コアキャビネット

コアキャビネット組品



(1台)

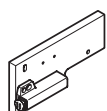
前板組品



(1枚)

※図はまるごと収納
タイプの場合

側板組品(左)

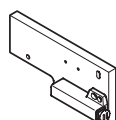


側板組品
(1枚)



トラス
タッピンねじ
4×40(2本)

側板組品(右)



側板組品
(1枚)



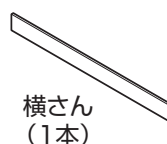
トラス
タッピンねじ
4×40(2本)

天板セット

【手洗器あり】

【手洗器なし】

取付材セット(横さん)



横さん
(1本)



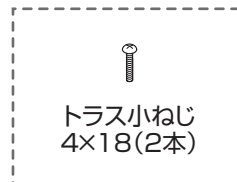
※図は手洗器あり



その他包装

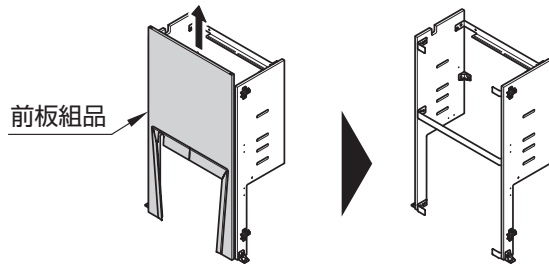
エンドパネル

ねじセット



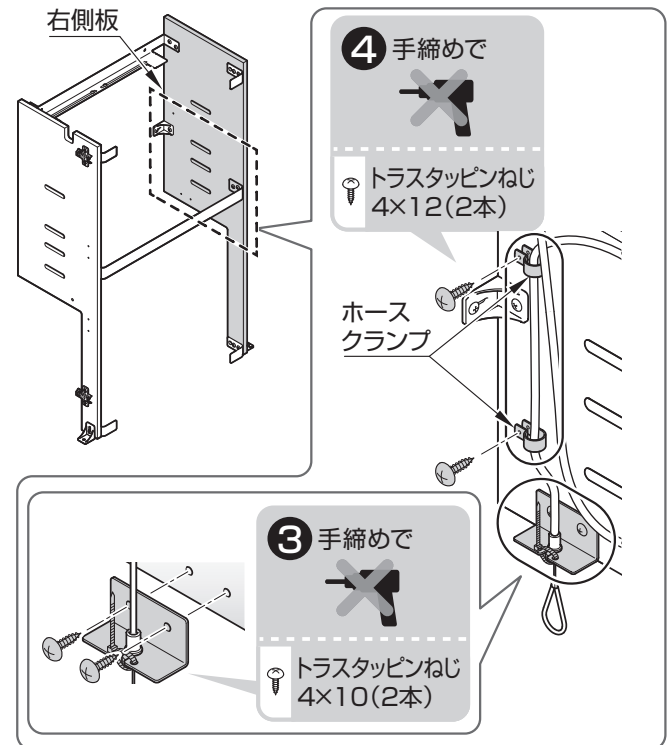
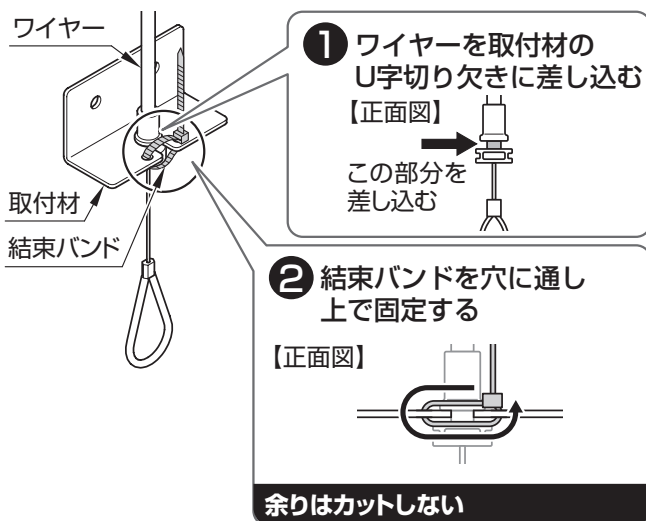
1 前板組品の取り外し

① 前板組品をコアキャビネット組品から取り外す



2 ワイヤーの取り付け

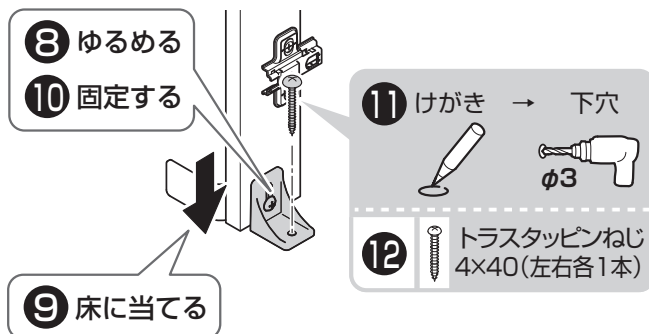
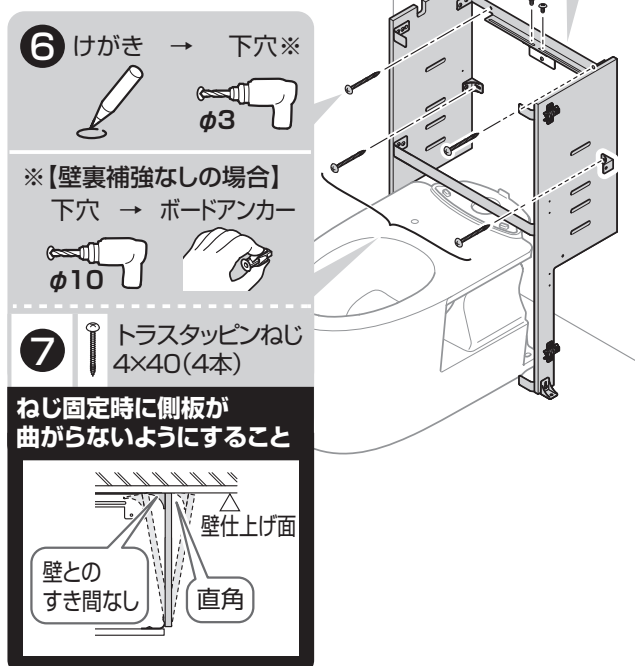
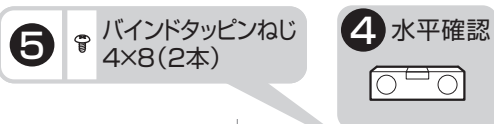
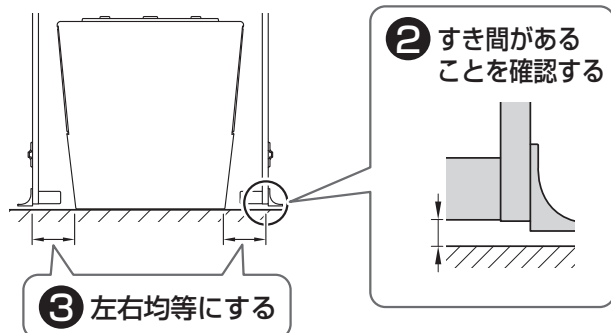
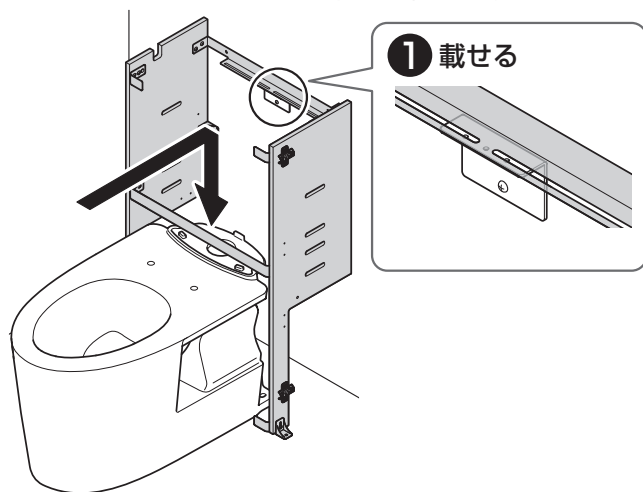
手洗器なしの
場合は ③へ



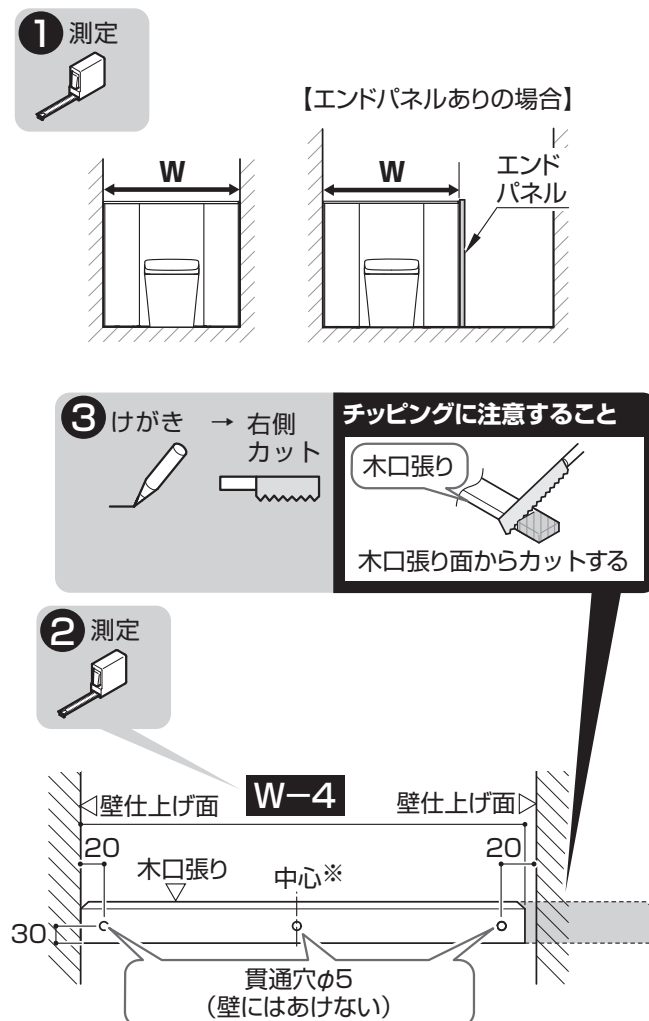
MEMO

3 コアキャビネット組品の取り付け

※タイプにより、コアキャビネット組品の形状が異なります。



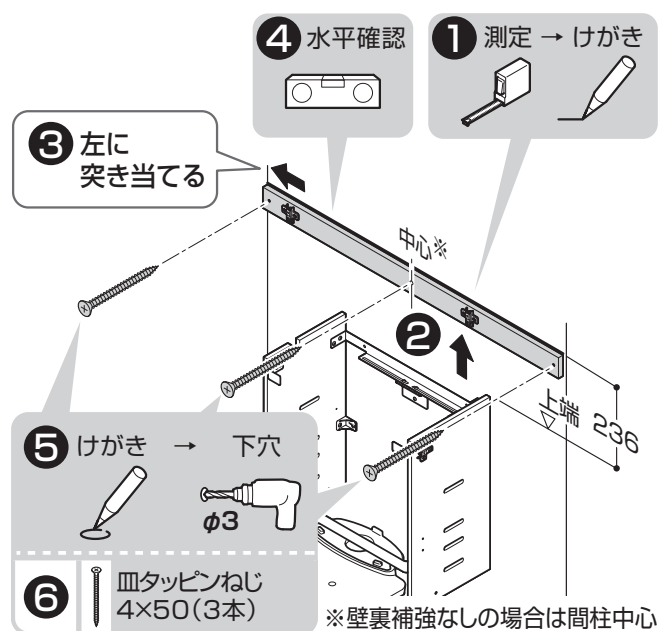
4 横さんのカット



※壁裏補強なしの場合は間柱中心

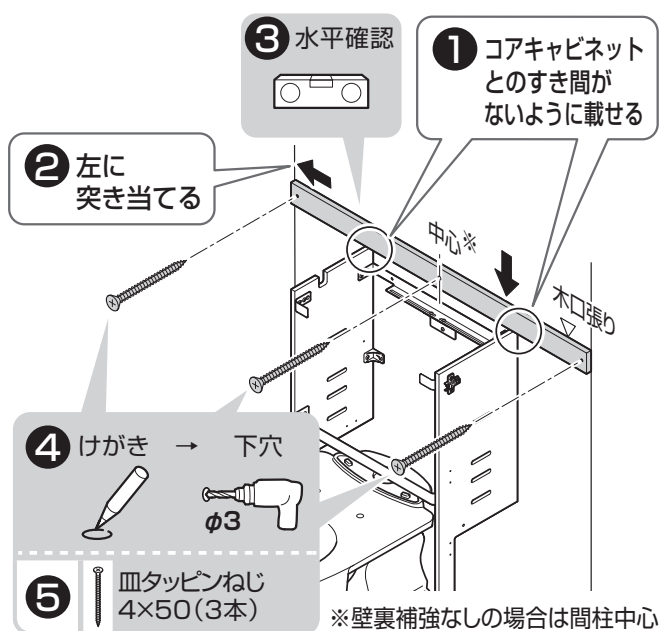
まるごと収納タイプ

5 横さんの取り付け

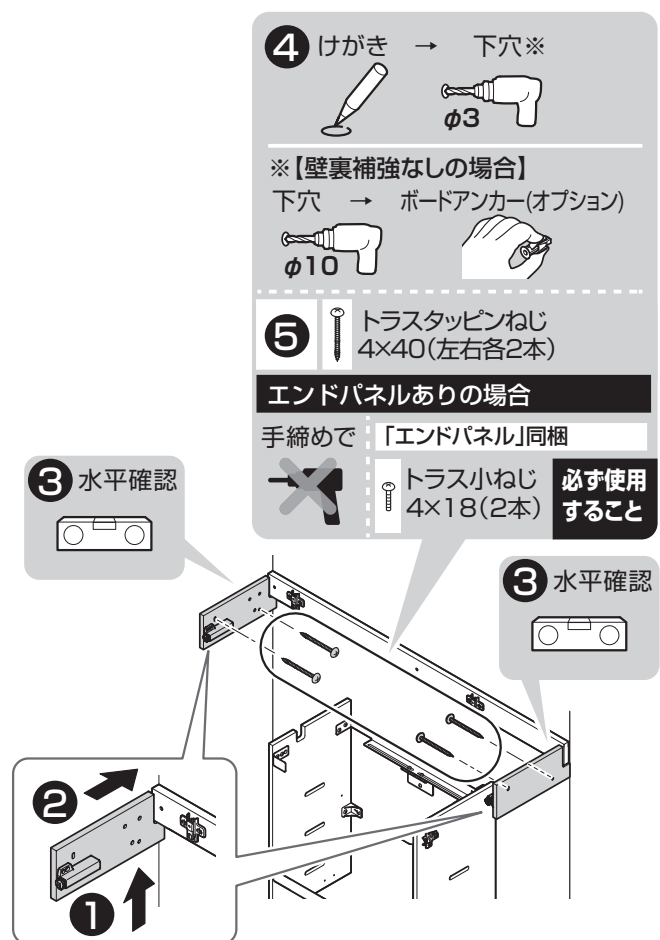


収納タイプ/スリム収納タイプ

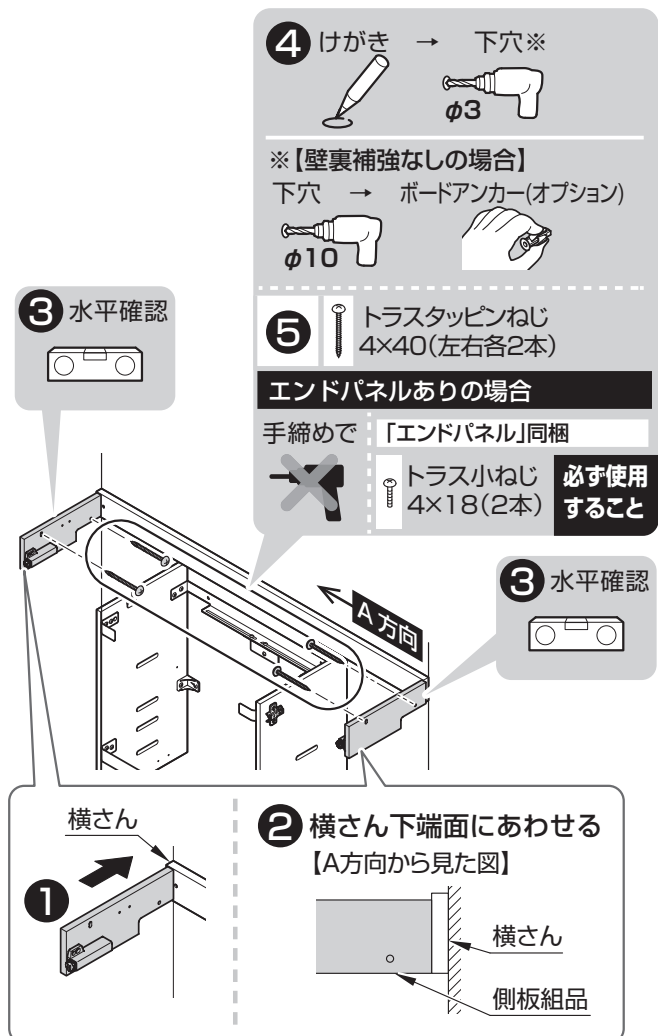
5 横さんの取り付け



6 側板組品の取り付け



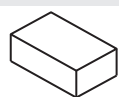
6 側板組品の取り付け



🔗 P.35 7.セットタンクへ

7. セットタンク

使用部材

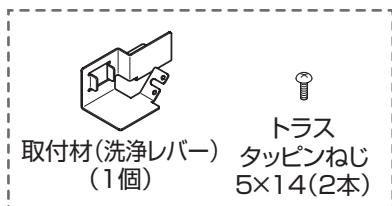


詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

取付材セット

※図はスリム収納タイプの場合



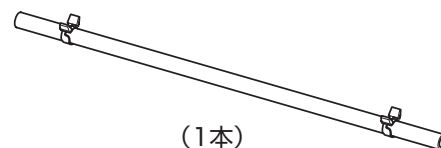
付属材セット



【手洗器ありの場合】



給水ホースセット

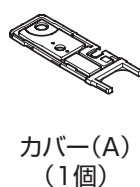
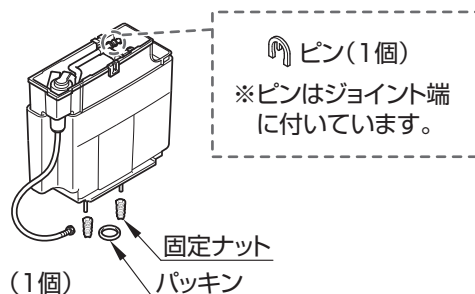


ホースクランプセット ※水抜方式の場合



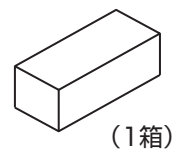
コアキャビネット

セットタンク



その他包装

便器洗浄ユニット



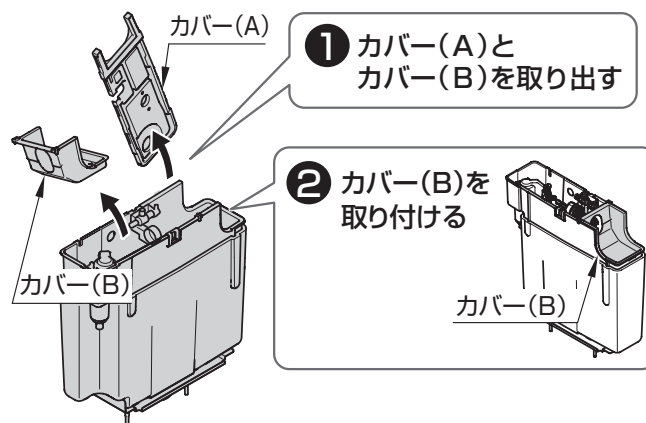
1 セットタンクの取り付け

⚠ 注意



必ず守る

カバー (B) がしっかり閉まっていることを確認する
カバー (B) が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

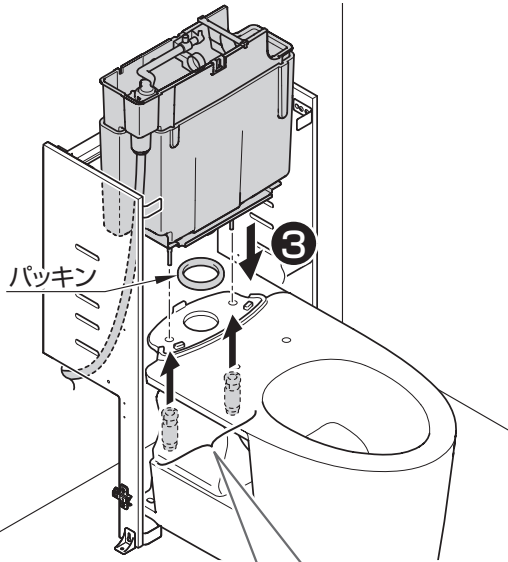


⚠ 注意



必ず守る

セットタンクにパッキンがセットされていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



⚠ 注意



必ず守る

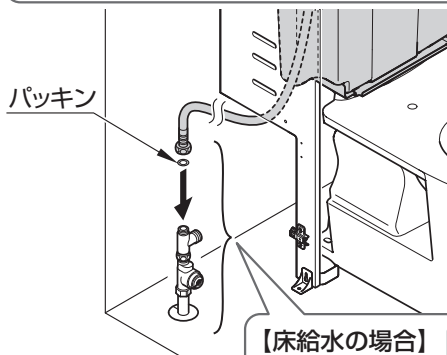
左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットを締め付けるときは必ず
手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。



4 手締めでかたく締め付ける

破損防止



【床給水の場合】



【壁給水の場合】



水抜方式  の場合は右図を参照

水抜方式

止水栓が左側にある場合

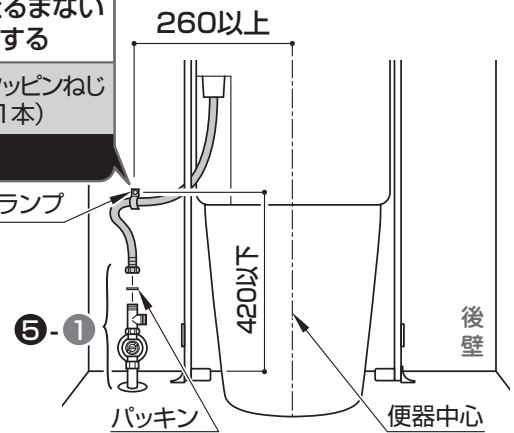
5-2

ホースがたるまないように固定する

トラスタッピンねじ
4×40(1本)

逆勾配防止

ホースクランプ



止水栓が右側にある場合

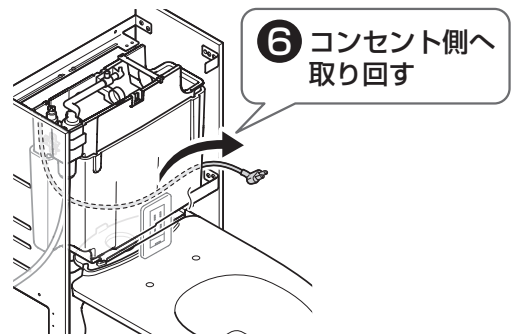
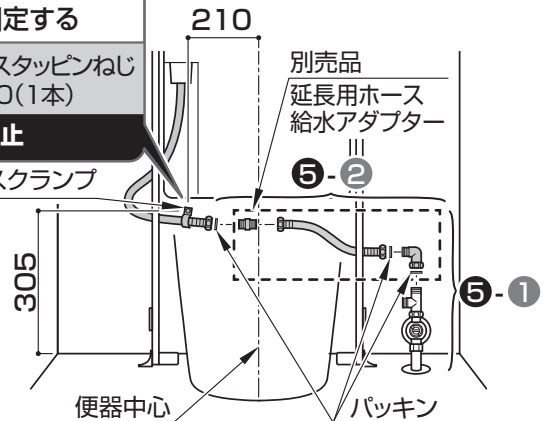
5-3

ホースがたるまないように固定する

トラスタッピンねじ
4×40(1本)

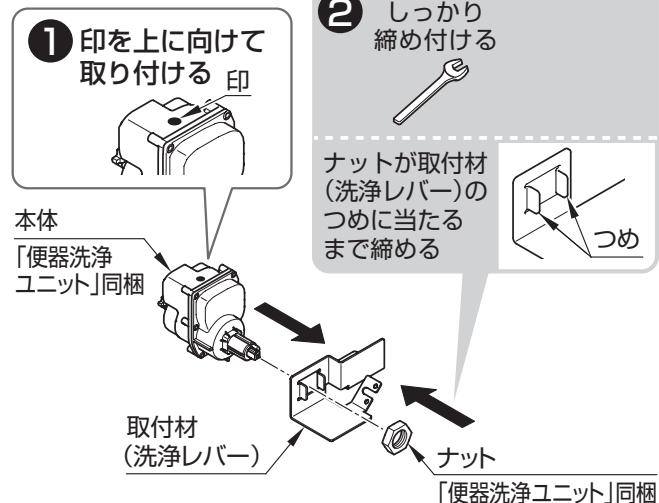
逆勾配防止

ホースクランプ

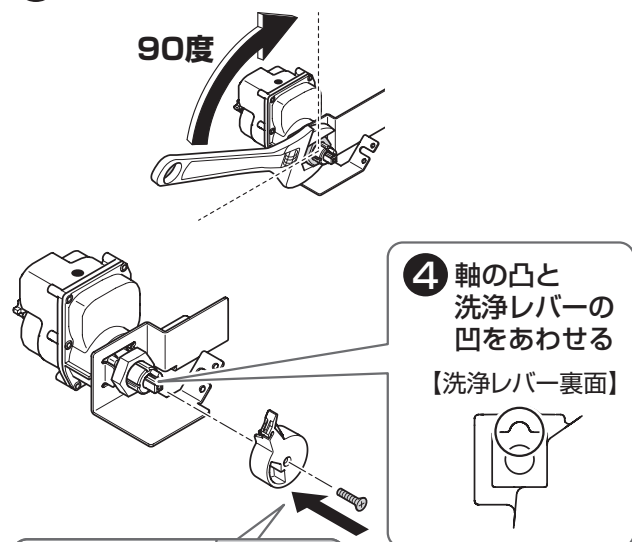


2 洗浄レバーの組み立て

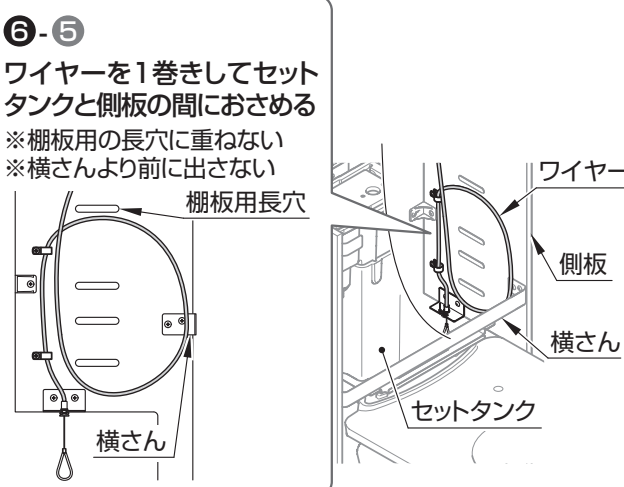
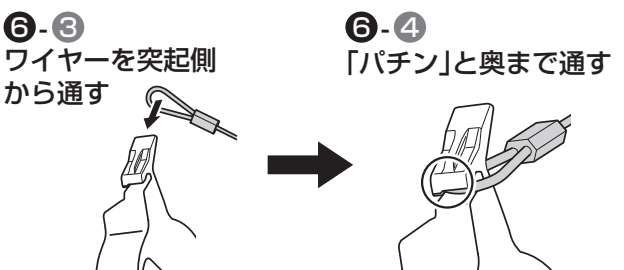
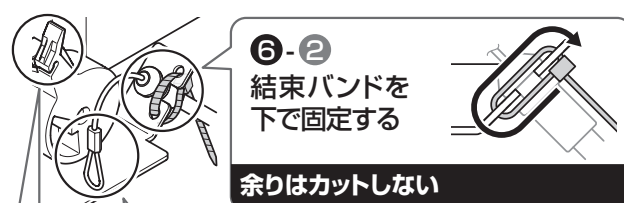
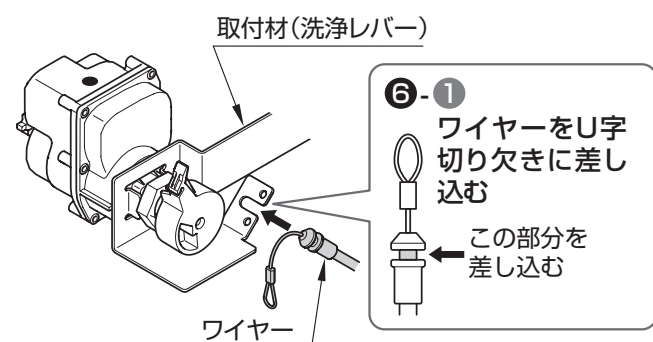
※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。



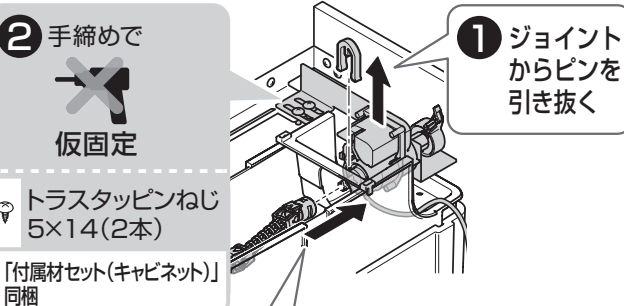
3 モンキーレンチでナットを90度増し締めする



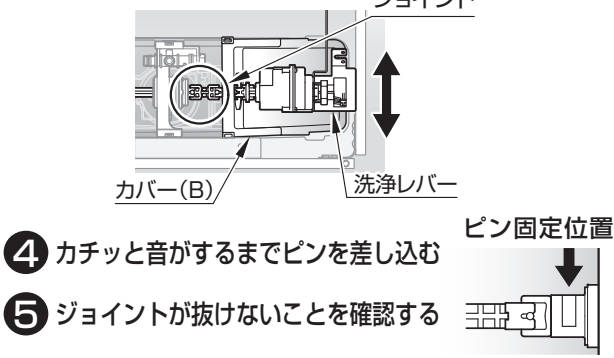
手洗器あり ※手洗器なしの場合は **3** へ



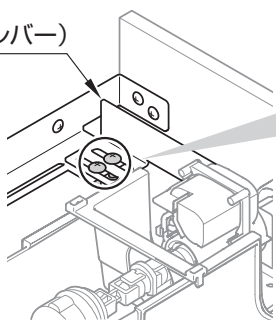
3 洗浄レバーの取り付け



3 カバー(B)に干渉しないように洗浄レバーを位置調整し、ジョイントを差し込む

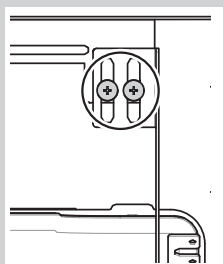


取付材
(洗浄レバー)



⑥ 手締めで

本固定

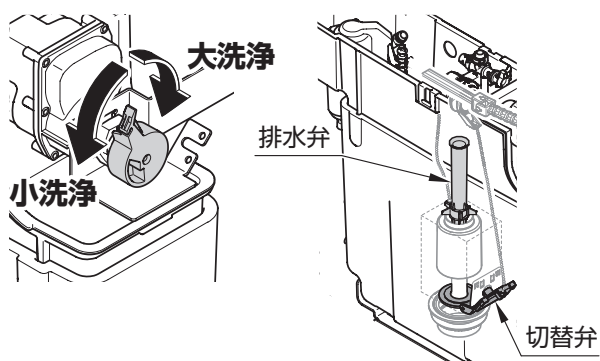


4 洗浄レバーの作動確認

洗浄レバー

① 作動確認

- ☐ 洗浄レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- ☐ 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- ☐ 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- ☐ 洗浄後、洗浄レバーが正規の位置に戻ることを確認すること

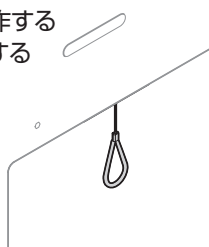


手洗器あり

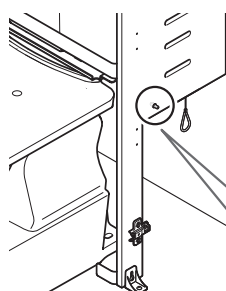
ワイヤー

② 作動確認

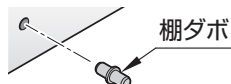
- コアキャビネット内のワイヤーを操作する
その際の洗浄レバーの動きも確認する
- ☐ レバーが動くこと
- ☐ スムーズに動作すること



水抜方式の場合

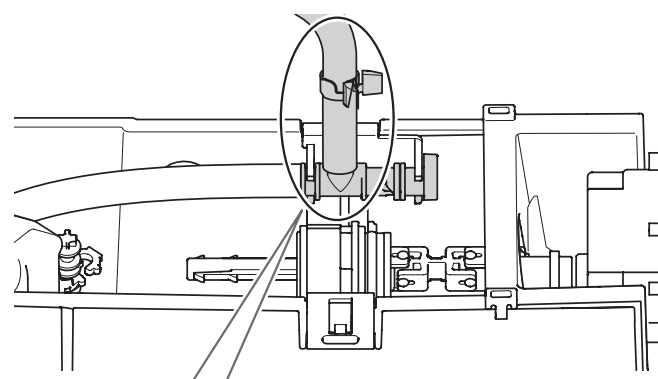
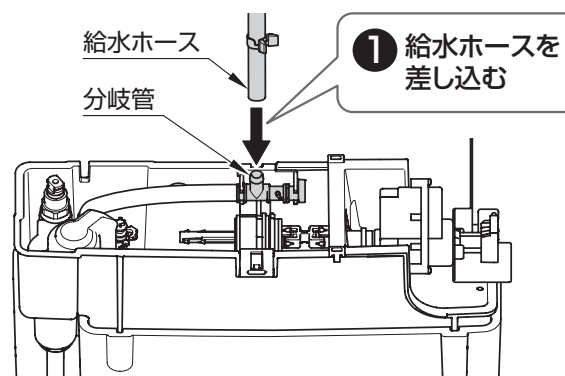


③ 下穴に差し込む



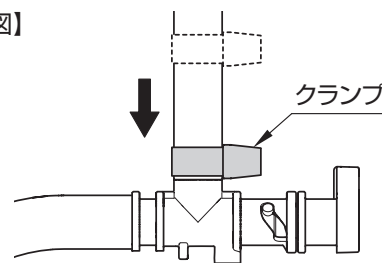
5 給水ホースの固定

手洗器あり



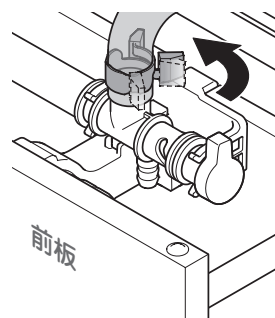
② クランプをつまんで移動し、分岐管とホースを締め付ける

【正面図】



ホースの先端が突き当たるまで差し込むこと

③ クランプのつまみを後ろに向ける



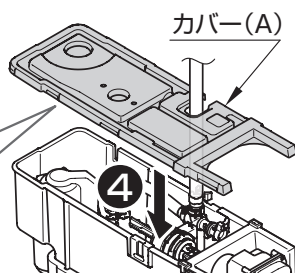
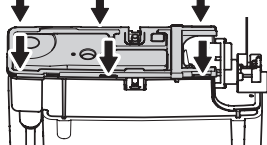
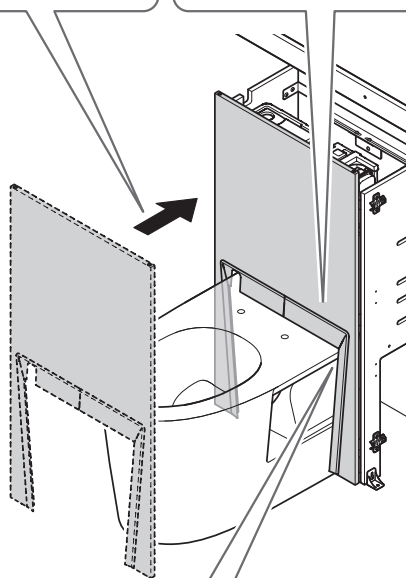
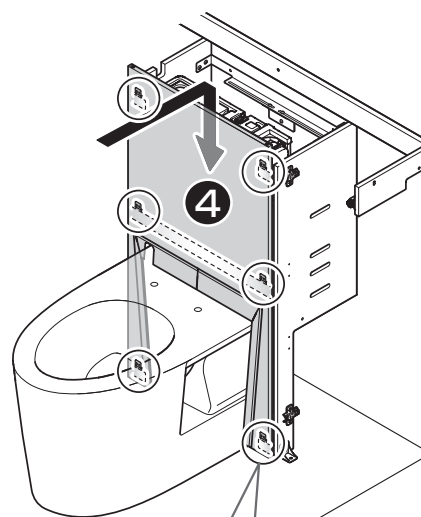
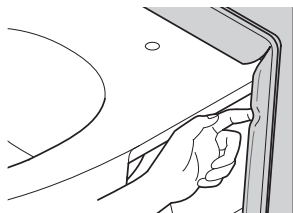
手洗器あり/手洗器なし 共通

注意

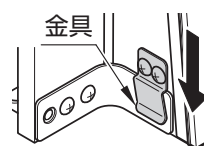
必ず守る

カバー(A)がしっかり閉まっていることを確認する

カバー(A)が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

5 浮き上がっていないことを確認する**6** 前板組品の取り付け**1** 前板組品を正面から挿入**2** ワイヤーを挟まないように押さえる**3** はか目地材を便器に添わせる
※奥に入った場合は手前に引き出すこと**5** 6カ所引っ掛ける

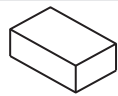
金具



MEMO

8. ウォシュレット

使用部材



詰め合わせ箱

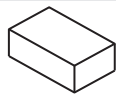
止水栓

【既存給水流用】

パッキン

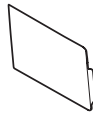


給水アダプター
(1個)



その他包装

大便器

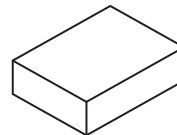


サイドカバー(左)
(1枚)



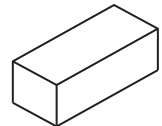
サイドカバー(右)
(1枚)

ウォシュレット



(1箱)

便器洗浄ユニット



(1箱)

MEMO

1 ウォシュレットの設置

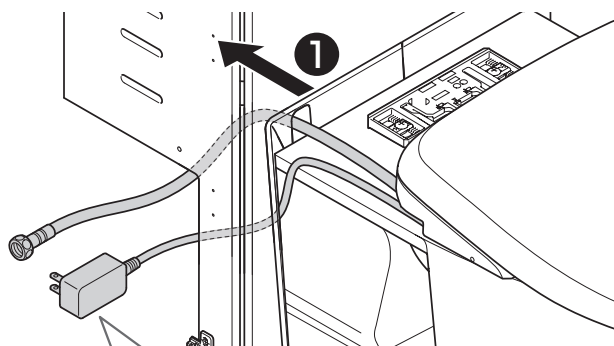
- ① 作業がしやすいように、ウォシュレットを手前に引き出し傷つかないように養生する

参照 ウォシュレットの施工説明書

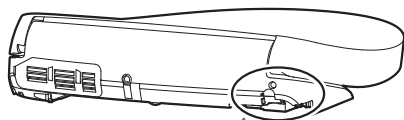
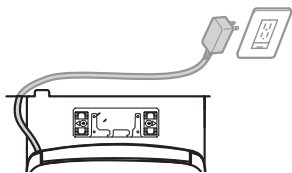
既存給水流用(水抜方式)右側立ち上げの場合

給水ホースをウォシュレット用給水ホース(別売品)と交換する

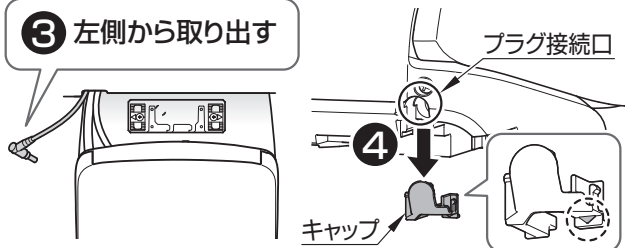
2 給水ホース・電源コードの取り回し



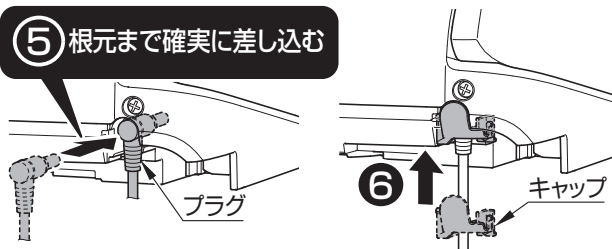
- ② プラグを便器側面からコンセント側に通す



- ③ 左側から取り出す



- ⑤ 根元まで確実に差し込む



- ⑦ 引き出したウォシュレットを取り付ける

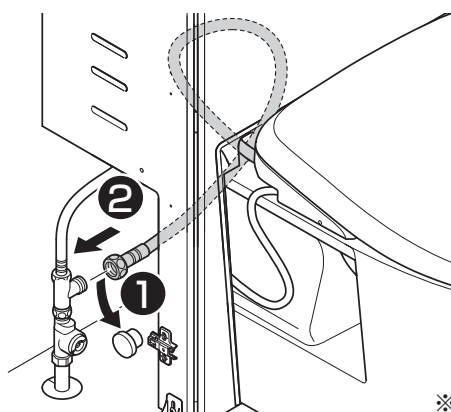
3 給水ホースの接続

⚠ 注意



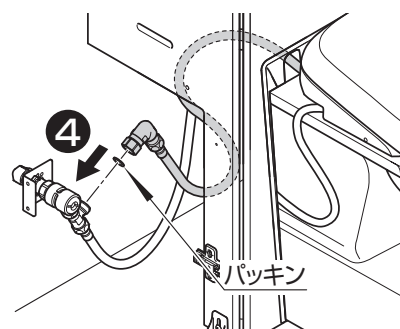
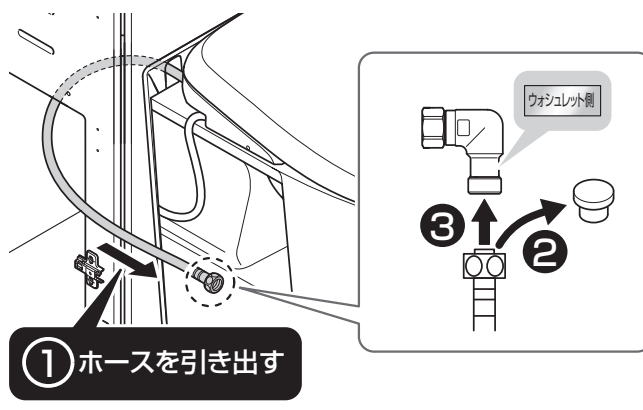
給水ホースを折り曲げたりしない
水漏れの原因となります。

給水新設、既存給水流用 水抜方式の場合



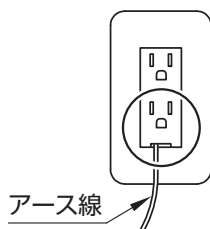
※図は床給水の場合

既存給水流用 一般地/流動方式の場合



4 アース線の接続

① アース線のみアースターミナルに取り付ける

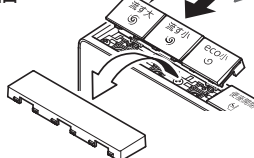


5 リモコンの設定・作動確認

① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認すること

流すボタン
「便器洗浄ユニット」
同梱



② 流すボタンの取り付け

参照 流すボタン取付説明書

リモコンには流すボタンが取り付け
付いていません。必ず取り付け
てください。

③ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを 確認し、モード設定をする

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあ
とに行ってください。

※ウォシュレット本体の電源が入ってないと設定を受け付けません。

ビデ/ワイド

水勢

④ と を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

水勢

水勢

⑤ → → の順に押す

ピッ



ビデ/ワイド

水勢

⑥ と を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

水勢

おしり/ソフト

⑦ → → の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体
表示部(便座)ランプが2回
点滅することを確認する

電子音とランプの点滅が下記で
なかった場合は、設定が正しく
できていません。

手順③に戻り設定しなおしてく
ださい。



本体表示部



<便座>
2回点滅

ピーツ、
ピーツ

⑧ 作動確認

※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒
たってから、もう一度ボタンを押してください。



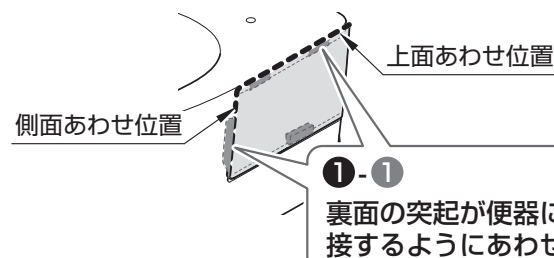
※正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

6 サイドカバーの取り付け

① はかま目地材を指でめくりながら 電源コードを切り欠きに通す



取り付けかた



上面あわせ位置

側面あわせ位置

①-①

裏面の突起が便器に
接するようにあわせる

①-②

はかま目地材を指でめくり
ながらカバーを差し込む

取り外しかた



①-①

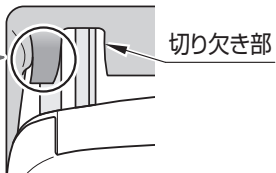
はかま目地材を
指でめくりながら
カバーを外す

7 はかま目地材の仕上げ

① はかま目地材を便器に沿わす

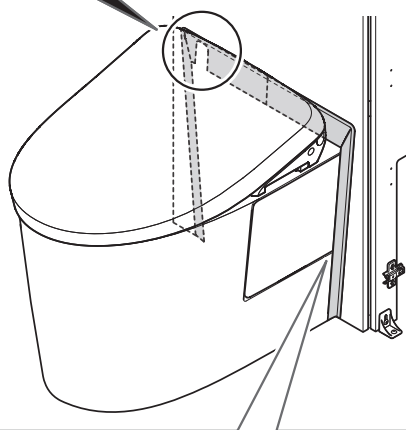
② 給水ホース、電源コードを切り欠き部に通す

③ この箇所を便器
上面に沿わせる

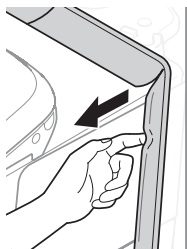


④ 浮き・すき間がないことを確認する

サイドカバーが確実にハマっていないとはかま目地材がずれるおそれがあります。



⑤ はかま目地材が奥に入った場合は手前に引き出す



MEMO